

5-1-5. 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

(1) 動物の生息状況

調査区域における動物の生息の状況について、山梨県は表 5-1-24 に、長野県は表 5-1-25 に示す文献資料をもとに整理しました。

表 5-1-24(1) 動物に関する文献資料一覧（山梨県）

No.	文献資料名等	分布確認項目						
		哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	昆虫類	貝類
1	「山梨県の主要動植物」（昭和47年、山梨県教育委員会）	○	○		○			
2	「大泉村誌 上巻」（平成元年3月31日、大泉村誌編纂委員会）	○	○	○	○	○	○	
3	「高根町誌 通史編 上巻」（平成2年11月30日、高根町編）	○	○		○		○	
4	「長坂町誌 上巻」（平成2年3月31日、長坂町）	○	○	○	○	○	○	
5	「2018 山梨県レッドデータブックー山梨県の絶滅のおそれのある野生生物ー」（平成30年3月、山梨県）	○						
6	「第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 哺乳類 調査結果検索」（環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）	○						
7	「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 哺乳類 調査結果検索」（環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）	○						
8	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 哺乳類 調査結果検索」（環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）	○						
9	「第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査 哺乳類分布調査 調査結果検索」（環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）	○						
10	「山梨県の野生動物」（昭和55年3月、山梨県県民生活局自然保護課）	○	○	○	○	○	○	
11	「山梨県市町村別鳥獣生息調査報告書」（昭和56年3月、山梨県林務部）	○	○					
12	「小淵沢町誌 上巻」（昭和58年11月30日、小淵沢町誌編集委員会）	○	○	○	○	○	○	○
13	「須玉町史 通史編 第一巻」（平成14年3月1日、須玉町史編さん委員会）	○	○			○		
14	「日本産鳥類の繁殖分布」（昭和56年3月25日、環境庁）		○					
15	「第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 鳥類 調査結果検索」（環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）		○					
16	「鳥獣保護事業基本調査報告書」（昭和55年、山梨県林務部林政課）		○					
17	「平成13年度猛禽類分布調査報告書」（平成14年8月、山梨県、山梨県猛禽類研究会）		○					
18	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 両生類・爬虫類 調査結果検索」（環境省自然環境局生物多様性センターホームページ）			○	○			

注1) ○：調査区域において分布を確認したものを示します。

表 5-1-24(2) 動物に関する文献資料一覧（山梨県）

No.	文献資料名等	分布確認項目						
		哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	昆虫類	貝類
19	「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 両生類・爬虫類 調査結果検索」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)				○			
20	「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 淡水魚類 調査結果検索」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)					○		
21	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 淡水魚類 調査結果検索」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)					○		
22	「第2回自然環境保全基礎調査 日本の重要な昆虫類 甲信越版」(昭和55年5月30日、環境庁)						○	
23	「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 昆虫(トンボ)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
	「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 昆虫(チョウ)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
	「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 昆虫(セミ及び甲虫)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
	「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 昆虫(ガ)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
24	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 昆虫(トンボ)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 昆虫(チョウ)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 昆虫(セミ・水生半翅)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 昆虫(ガ)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 昆虫(甲虫)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
25	「第4回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 陸産及び淡水産貝類 調査結果検索」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)							○
26	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 陸産及び淡水産貝類 調査結果検索」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)							○

注1) ○：調査区域において分布を確認したものを示します。

表 5-1-25(1) 動物に関する文献資料一覧（長野県）

No.	文献資料名等	分布確認項目						
		哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	昆虫類	貝類
1	「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 哺乳類 調査結果検索」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)	○						
2	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 哺乳類 調査結果検索」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)	○						
3	「第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査 哺乳類分布調査 調査結果検索」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)	○						
4	「南佐久郡誌 自然編(下)」(平成6年、南佐久郡誌刊行会)	○	○	○	○	○	○	
5	「長野県版レッドリスト(動物編)2015」(平成27年3月、長野県) 「長野県版レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～動物編(2004)」(平成16年3月、長野県)	○	○	○	○	○	○	○
6	「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 淡水魚類 調査結果検索」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)					○		
7	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 淡水魚類 調査結果検索」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)					○		
8	「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 昆虫(トンボ)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
	「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 昆虫(チョウ)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
	「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 昆虫(セミ及び甲虫)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
	「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 昆虫(ガ)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
9	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 昆虫(トンボ)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 昆虫(チョウ)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 昆虫(セミ・水生半翅)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 昆虫(ガ)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 昆虫(甲虫)類」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)						○	
10	「南佐久郡 甲虫目録」(昭和63年、南佐久郡誌刊行会)						○	

注1) ○：調査区域において分布を確認したものを示します。

表 5-1-25(2) 動物に関する文献資料一覧（長野県）

No.	文献資料名等	分布確認項目						
		哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	昆虫類	貝類
11	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 陸産及び淡水産貝類 調査結果検索」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)							○
12	「第3回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 鳥類 調査結果検索」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)		○					
13	「第4回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査 両生類・爬虫類 調査結果検索」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)			○	○			
14	「第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査 両生類・爬虫類 調査結果検索」(環境省自然環境局生物多様性センターホームページ)			○	○			
15	「南牧村誌」(昭和61年、長野県南佐久郡南牧村誌編さん委員会)	○	○	○	○	○	○	○
16	「南牧村の動物(ほ乳類)」(南牧村教育委員会)	○						
17	「南牧村の動物(鳥類)」(南牧村教育委員会)		○					
18	「南牧村の蝶類」(南牧村教育委員会)						○	
19	「小海町志」(昭和48年、小海町志刊行委員会)	○	○	○	○	○	○	○
20	「八千穂村誌 自然編」(平成14年、八千穂村誌刊行会)	○	○	○	○	○	○	○
21	「佐久町誌 自然編」(平成2年、佐久町誌刊行会)	○	○	○	○	○	○	○
22	「南相木村誌 南相木の自然」(平成18年 南相木村)	○	○	○	○	○	○	○
23	「北相木村誌」(昭和52年、北相木村誌刊行委員会)	○	○		○		○	

注1) ○ : 調査区域において分布を確認したものを示します。

1) 動物相の状況

a. 哺乳類相

山梨県の調査区域には、7目16科41種の哺乳類の生息情報があります。「山梨県の野生動物」(昭和55年3月、山梨県県民生活局自然保護課)によると山梨県は日本哺乳類地理区分において日本本土地区のほか中央に位置し、富士川沿いの3町を除き温帯亜地区にあり、山や沢が深いことから哺乳類相は豊富であるとされています。八ヶ岳地区では、カモシカ、ニホンジカは標高1,000m以上の山岳地帯に、ツキノワグマは標高800m以上の雑木林に、家住性と森林性のコウモリ類、ヤマネ、ノウサギ、タヌキ、キツネ、イタチは広く分布しており、ニホンリスは標高600m付近から全域に分布しているとされています。

長野県の調査区域には、7目16科44種の哺乳類の生息情報があります。調査区域は千曲川流域の平地と山麓の谷川によってできた谷沿いの平地と、谷の間に山脈状の尾根が四方に広がり、起伏に富む地形を構成し、野辺山のような高原台地もあるため高山帯から山地、平地に生息する多様な種が見られる環境です。

b. 鳥類相

山梨県の調査区域には、15目44科180種の鳥類の生息情報があります。「2018 山梨県レッドデータブック」(平成30年3月、山梨県森林環境部みどり自然課)によると、山梨県は県土の約78%を山林が占め、低山帯から高山帯まで環境変化に富んだ森林が多く存在しているため、海洋性の鳥類はほとんど見られないかわりに、森林性の鳥類種が豊富となっているのが特徴です。また、「山梨県の野生動物」(昭和55年3月、山梨県県民生活局自然保護課)によると、旅鳥、迷鳥等も含めるとおよそ240種の鳥類が生息しているとされています。

長野県の調査区域には、17目47科156種の鳥類の生息情報があります。調査区域は山地帯から亜高山帯におよび、その原生林その他各種林相に応じた野鳥が生息しています。亜高山針葉樹林ではクイタダキ、コマドリ、メボソムシクイ等、同じ亜高山広葉樹林ではシジュウカラ、アカゲラ等が生息しています。また、千曲川やそこへ流入する支流沿川のカラマツ植林、コナラ林、畑地、果樹園ではスズメ、ムクドリ、ヒヨドリ、シジュウカラの仲間が多く、野辺山高原等では草原性のヒバリ、ノビタキ、ホオアカ、ビンズイが多く生息しており、少数ながらウズラ、コヨシキリ等も見られます。なお、松原湖ではカルガモ、コガモ等も生息しています。

c. 爬虫類・両生類相

山梨県の調査区域には、1目4科9種の爬虫類、2目6科14種の両生類の生息情報があります。「山梨県の野生動物」（昭和55年3月、山梨県県民生活局自然保護課）によると、八ヶ岳地区には爬虫類としてトカゲ、アオダイショウ、ヤマカガシ、シマヘビ、ジムグリ、マムシ、カナヘビ等が、両生類としてヒキガエル、アマガエル、ヤマアカガエル、トノサマガエル、カジカガエル、ハコネサンショウウオ、アカハライモリ等が生息しているとされています。

長野県の調査区域には、2目5科10種の爬虫類、2目6科13種の両生類の生息情報があります。森林、宅地、耕作地等、爬虫類にとって良好な生息環境を有しており、爬虫類相が豊富であるといえます。確認されている種を卵や幼生が過ごす水域をもって区分すると、当地域の両生類はカジカガエル等の溪流性の種が見られ、また、湧水が随所に見られることから、湧水性のタゴガエルの多い地域でもあります。止水性の種（水田や池で産卵する種）としては成体になって森林に生息するアズマヒキガエル、草地に生息するアカハライモリ、アマガエルが見られます。

d. 魚類相

山梨県の調査区域には、7目9科28種の魚類の生息情報があります。「山梨県の野生動物」（昭和55年3月、山梨県県民生活局自然保護課）によると、八ヶ岳地区の河川にはヤマメやイワナが生息するとされています。須玉川の中流部ではアブラハヤ、アマゴ、ウナギ、シマドジョウ、ドジョウ、メダカが確認されています。各市町村誌等によると、調査区域では、ヤマメ、ウグイ、ホトケドジョウ、カジカ等の上流域から中流域に生息する種が記録されています。

長野県の調査区域には、7目11科33種の魚類の生息情報があります。千曲川上流域や支流には溪流性のイワナ、ヤマメ、アマゴが生息しており、千曲川本流にはアユ、ウグイ、オイカワが生息しています。松原湖等の湖沼においては、ワカサギ、ニジマス、フナ類が生息しています。

e. 昆虫類相

山梨県の調査区域には、10目77科390種の昆虫類の生息情報があります。「山梨県の野生動物」(昭和55年3月、山梨県県民生活局自然保護課)によると、山梨県ではミヤマセセリ、ギンイチモンジセセリ、ヒメシロチョウ、ウラギンヒョウモン等のチョウ類が生息しており、溪谷沿いにはメスアカミドリシジミ、ウラゴマダラシジミ、ミドリシジミ、オナガシジミ等が生息しているとされています。また、ヒメギフチョウが清里周辺や観音平下方に分布し、オオムラサキも記録されています。さらにヨコヤマヒメハナカミキリ、オオトラカミキリ等のカミキリ類も記録されています。各市町村誌によると、クワカミキリ、クロスジカミキリ、ノコギリクワガタ、ミヤマクワガタ等の甲虫類、アオイトトンボ、シオカラトンボ、ノシメトンボ等のトンボ類等が記録されています。

長野県の調査区域には、15目279科3,881種の昆虫類の生息情報があります。調査区域は標高差が大きく、高山帯・亜高山帯から山地帯、人里、また河原等多様な環境が見られ、そこには多様な昆虫が生息しています。「南佐久郡誌 自然編(下)」(平成6年、南佐久郡誌刊行会)によると、長野県の希少種であるベニモンマダラ、ホシチャバネセセリ、アカセセリ、ギンイチモンジセセリ等の生息情報が確認されています。

f. 貝類相

山梨県の調査区域には、1綱3目9科11種の貝類の生息情報があります。山梨県では3目が確認されており、「小淵沢町誌 上巻」(昭和58年、小淵沢町誌編集委員会)によると、調査区域において、マルタニシ、カワニナの生息情報があります。

長野県の調査区域には、2綱4目9科15種の生息情報があります。「長野県版レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～動物編(2004)」(平成16年3月、長野県)によると、調査区域において、モノアラガイ、ヒラマキミズマイマイの生息情報があります。

2) 動物の重要な種及び注目すべき生息地の状況

学術上又は希少性の観点から重要な種及び注目すべき生息地の選定基準を表 5-1-26 に示します。第 1 回自然環境保全調査及び第 2 回自然環境保全基礎調査において示される重要な種及び注目すべき生息地の状況の確認位置を図 5-1-12 に示します。

表 5-1-26 重要な種及び注目すべき生息地の選定基準

区間	根拠とする法令・条例及び文献		ランク区分		
	記号	名 称	記号	名 称	
共通	文化財	「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号) に基づく国、県、市町村指定の天然記念物	特天	国指定特別天然記念物	
			国天	国指定天然記念物	
			県天	県指定天然記念物	
	保存法	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年 6 月 5 日法律第 75 号)	○	特定国内希少野生動植物種	
				国内希少野生動植物種	
				国際希少野生動植物種	
				緊急指定種	
	環境省 RL	「環境省レッドリスト 2019 の公表について」(平成 31 年 1 月 24 日発表：環境省ホームページ) の掲載種		生息地等保護区	
				EX	絶滅
				EW	野生絶滅
				CR	絶滅危惧 IA 類
				EN	絶滅危惧 IB 類
				VU	絶滅危惧 II 類
NT				準絶滅危惧	
DD	情報不足				
LP	絶滅のおそれのある地域個体群				
山梨県	山梨県条例	「山梨県希少野生動植物種の保護に関する条例」(平成 19 年 7 月 9 日山梨県条例第 34 号)	特定	特定希少野生動植物種	
			指定	指定希少野生動植物種	
	山梨県 RDB	「2018 山梨県レッドデータブック ー山梨県の絶滅のおそれのある野生生物ー」(平成 30 年 3 月、山梨県)		EX	絶滅
				EW	野生絶滅
				CR	絶滅危惧 IA 類
				EN	絶滅危惧 IB 類
				VU	絶滅危惧 II 類
				NT	準絶滅危惧
				DD	情報不足
				LP	絶滅のおそれのある地域個体群
N	要注目種				
長野県	長野県条例	「長野県希少野生動植物保護条例」(平成 15 年 3 月 24 日長野県条例第 32 号)	特別	特別指定希少野生動植物	
			指定	指定希少野生動植物	
	長野県 RDB	「長野県版レッドリスト(動物編) 2015」(平成 27 年 3 月、長野県)		EX	絶滅
				EW	野生絶滅
				CR+EN	絶滅危惧 I 類 (IA+IB)
				CR	絶滅危惧 IA 類
				EN	絶滅危惧 IB 類
				VU	絶滅危惧 II 類
				NT	準絶滅危惧
				DD	情報不足
LP	絶滅のおそれのある地域個体群				
N	留意種				

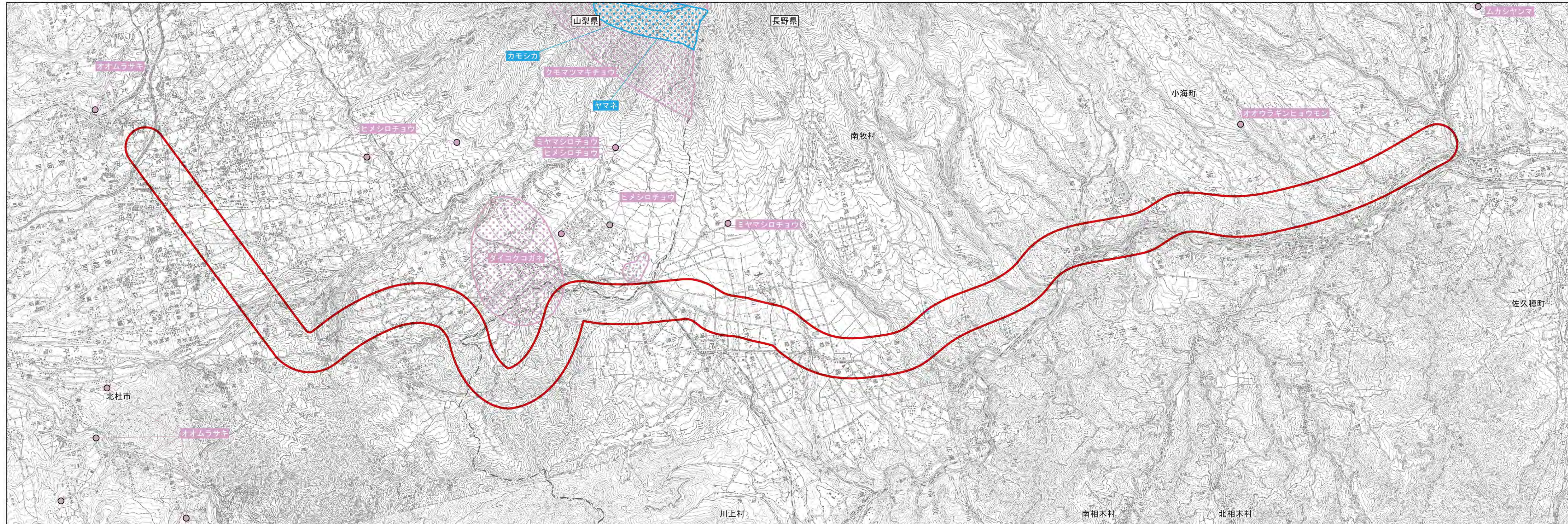


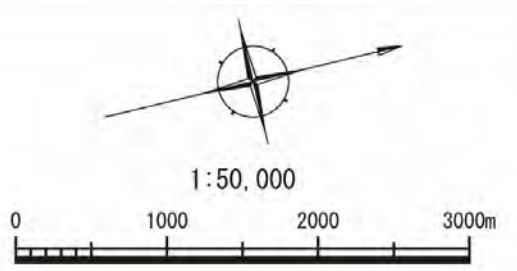
図 5-1-12 重要な動物確認位置図

凡 例

- 事業実施区域
- 県境
- 市町村界
- 哺乳類
- 昆虫類

山梨県出典：「第1回自然環境保全基礎調査（昭和51年、環境庁）」
 「第2回自然環境保全基礎調査（昭和56年、環境庁）」
 山梨県すぐれた自然図
 山梨県動物植物分布図

長野県出典：「第1回自然環境保全基礎調査（昭和51年、環境庁）」
 「第2回自然環境保全基礎調査（昭和56年、環境庁）」
 長野県すぐれた自然図
 長野県動物植物分布図



a. 哺乳類

山梨県の調査区域には表 5-1-27 に示すとおり、6 目 10 科 21 種の哺乳類の重要な種の生息情報があります。

長野県の調査区域には表 5-1-28 に示すとおり、5 目 8 科 11 種の哺乳類の重要な種の生息情報があります。

表 5-1-27 重要な哺乳類（山梨県）

No.	目名	科名	種名	選定根拠				
				文化財	保存法	山梨県条例	環境省RL	山梨県RDB
1	モグラ	トガリネズミ	アズミトガリネズミ				NT	VU
2			カワネズミ					N
3	コウモリ	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ					N
4		ヒナコウモリ	ヒメホオヒゲコウモリ					N
5			モモジロコウモリ					NT
6			ルンコウモリ				VU	VU
7			ウサギコウモリ					NT
8			ニホンコテングコウモリ					N
9			ニホンテングコウモリ					NT
10	ウサギ	ウサギ	ノウサギ					N
11	ネズミ	リス	ニホンリス					N
12			ホンドモモンガ					NT
13			ムササビ					N
14		ヤマネ	ヤマネ	国天				NT
15		ネズミ	タイリクヤチネズミ					DD
16			ハタネズミ					DD
17			カヤネズミ					N
18	ネコ	クマ	ツキノワグマ					N
19		イタチ	イタチ					DD
20			ホンドオコジョ				NT	DD
21	ウシ	ウシ	カモシカ	特天				
6目10科21種				2種	0種	0種	3種	20種

※選定根拠の凡例は表 5-1-26 に示す

表 5-1-28 重要な哺乳類（長野県）

No.	目名	科名	種名	選定根拠				
				文化財	保存法	長野県条例	環境省RL	長野県RDB
1	モグラ	トガリネズミ	ホンショウトガリネズミ					NT
2			カワネズミ					NT
3		モグラ	ミズラモグラ				NT	
4	コウモリ	ヒナコウモリ	カグヤコウモリ					EN
5			ヤマコウモリ				VU	VU
6			ウサギコウモリ					VU
7	ネズミ	リス	ホンドモモンガ	県天				NT
8		ヤマネ	ヤマネ	国天				NT
9	ネコ	クマ	ツキノワグマ					LP(注1)
10		イタチ	ホンドオコジョ	県天			NT	NT
11	ウシ	ウシ	カモシカ	特天				
5目8科11種				4種	0種	0種	3種	9種

注1) 中信高原・八ヶ岳地域個体群のみ、LP: 地域個体群に該当します。

※選定根拠の凡例は表 5-1-26 に示す

b. 鳥類

山梨県の調査区域には表 5-1-29 に示すとおり、12 目 25 科 55 種の鳥類の重要な種の生息情報があります。

長野県の調査区域には表 5-1-30 に示すとおり、12 目 22 科 46 種の鳥類の重要な種の生息情報があります。

表 5-1-29 重要な鳥類（山梨県）

No.	目名	科名	種名	選定根拠				
				文化財	保存法	山梨県条例	環境省RL	山梨県RDB
1	コウノトリ	サギ	ヨシゴイ				NT	VU
2			ミソゴイ				VU	EN
3	カモ	カモ	オシドリ				DD	
4			トモエガモ				VU	DD
5	タカ	タカ	ハチクマ				NT	VU
6			オオワシ	国天	○		VU	DD
7			オオタカ				NT	NT
8			ツミ					NT
9			ハイタカ				NT	VU
10			サシバ				VU	NT
11			クマダカ		○		EN	EN
12			イヌワシ	国天	○		EN	CR
13			チュウヒ		○		EN	EN
14		ハヤブサ	ハヤブサ		○		VU	VU
15	キジ	ライチョウ	ライチョウ	特天	○	指定	EN	CR
16		キジ	ウスラ				VU	NT
17	ツル	クイナ	クイナ					DD
18			ヒクイナ				NT	DD
19	チドリ	タマシギ	タマシギ				VU	EN
20		シギ	ハマシギ				NT	
21			ツルシギ				VU	
22			アカアシシギ				VU	
23			タカブシギ				VU	
24			ホウロクシギ				VU	
25			ヤマシギ					DD
26			オオジシギ				NT	VU
27		カモメ	コアジサシ				VU	VU
28	フクロウ	フクロウ	トラフズク					VU
29			コノハズク					EN
30			オオコノハズク					VU
31			アオバズク					NT
32			フクロウ					NT
33	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ				NT	VU
34	アマツバメ	アマツバメ	ハリオアマツバメ					DD
35	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ					NT
36			アカショウビン					EN
37		ブッポウソウ	ブッポウソウ				EN	EN
38	キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ					DD
39	スズメ	ツバメ	コシアカツバメ					NT
40		サンショウクイ	サンショウクイ				VU	NT
41		モズ	チゴモズ				CR	CR
42			アカモズ				EN	EN
43		レンジャク	キレンジャク					NT
44			ヒレンジャク					NT
45		ツグミ	トラツグミ					NT
46			マミジロ					NT
47		カササギヒタキ	サンコウチョウ					NT
48		キバシリ	キバシリ					DD
49		ホオジロ	コジュリン				VU	DD
50			ミヤマホオジロ					NT
51			ノジロ				NT	NT
52			クロジ					DD
53		アトリ	ベニヒワ					DD
54			オオマシコ					DD
55			イスカ					DD
12目25科55種				3種	6種	1種	31種	49種

※選定根拠の凡例は表 5-1-26 に示す

表 5-1-30 重要な鳥類（長野県）

No.	目名	科名	種名	選定根拠						
				文化財	保存法	長野県条例	環境省RL	長野県RDB		
1	コウノトリ	サギ	サンカノゴイ				EN			
2			ヨシゴイ				NT	EN		
3			ササゴイ					VU		
4			チュウサギ					NT	NT	
5			コサギ						NT	
6	カモ	カモ	オシドリ				DD	N		
7	タカ	タカ	ミサゴ				NT	EN		
8			ハチクマ				NT	VU		
9			オオタカ				NT	VU		
10			ツミ					DD		
11			ハイタカ				NT	VU		
12			サンバ					VU	EN	
13			クマタカ			○	指定	EN	EN	
14			イヌワシ			国天	○	特別	EN	CR
15			ハヤブサ	ハヤブサ			○		VU	EN
16			キジ	ライチョウ	ライチョウ	特天	○	指定	EN	EN
17				キジ	ウズラ				VU	CR
18			ツル	クイナ	クイナ					DD
19				クイナ	ヒクイナ				NT	CR
20			チドリ	チドリ	イカルチドリ					NT
21	シギ	オオヅルハシシギ					VU			
22		ホウロクシギ					VU			
23		ヤマシギ						DD		
24		オオジシギ					NT	CR		
25	フクロウ	フクロウ	トラフズク					EN		
26			コミズク					EN		
27			コノハズク					VU		
28			オオコノハズク						DD	
29			アオハズク						EN	
30	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ				NT	VU		
31	アマツバメ	アマツバメ	ハリオアマツバメ					NT		
32	ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ					VU		
33		ブッポウソウ	ブッポウソウ	県天		特別	EN	CR		
34		ヤツガシラ	ヤツガシラ	県天						
35	キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ					NT		
36	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ				VU	N		
37		モズ	チゴモズ				CR	CR		
38			アカモズ				EN	EN		
39		ツグミ	ノヒタキ					NT		
40			マミジロ					NT		
41		ウグイス	マキノセンニュウ				NT			
42			コヨシキリ					EN		
43			セッカ					CR		
44		カササギヒタキ	サンコウチョウ					VU		
45		ホオジロ	ホオアカ					NT		
46			ノジコ				NT	NT		
12目22科46種				4種	4種	4種	25種	41種		

※選定根拠の凡例は表 5-1-26 に示す

c. 爬虫類・両生類

山梨県の調査区域には表 5-1-31 及び表 5-1-32 に示すとおり、爬虫類が 1 目 1 科 2 種、両生類が 2 目 3 科 4 種の重要な種の生息情報があります。

長野県の調査区域には表 5-1-33 及び表 5-1-34 に示すとおり、爬虫類が 2 目 2 科 2 種、両生類が 2 目 3 科 6 種の重要な種の生息情報があります。

表 5-1-31 重要な爬虫類（山梨県）

No.	目名	科名	種名	選定根拠				
				文化財	保存法	山梨県条例	環境省RL	山梨県RDB
1	有鱗	ナミヘビ	シマヘビ					VU
2			シロマダラ					DD
1目1科2種				0種	0種	0種	0種	2種

※選定根拠の凡例は表 5-1-26 に示す

表 5-1-32 重要な両生類（山梨県）

No.	目名	科名	種名	選定根拠				
				文化財	保存法	山梨県条例	環境省RL	山梨県RDB
1	有尾	サンショウウオ	ヒダサンショウウオ				NT	NT
2			イモリ				NT	VU
3	無尾	アカガエル	トノサマガエル				NT	NT
4			ナゴヤダルマガエル				EN	
2目3科4種				0種	0種	0種	4種	3種

※選定根拠の凡例は表 5-1-26 に示す

表 5-1-33 重要な爬虫類（長野県）

No.	目名	科名	種名	選定根拠				
				文化財	保存法	長野県条例	環境省RL	長野県RDB
1	カメ	イシガメ	ニホンイシガメ				NT	
2	有鱗	ナミヘビ	ヒバカリ					DD
2目2科2種				0種	0種	0種	1種	2種

※選定根拠の凡例は表 5-1-26 に示す

表 5-1-34 重要な両生類（長野県）

No.	目名	科名	種名	選定根拠				
				文化財	保存法	長野県条例	環境省RL	長野県RDB
1	有尾	サンショウウオ	ヒダサンショウウオ				NT	NT
2			アカハライモリ				NT	NT
3	無尾	アカガエル	ナガレダゴガエル					DD
4			トノサマガエル				NT	NT
5			トウキョウダルマガエル				NT	VU
6			ツチガエル					VU
2目3科6種				0種	0種	0種	4種	6種

※選定根拠の凡例は表 5-1-26 に示す

d. 魚類

山梨県の調査区域には表 5-1-35 に示すとおり、5 目 6 科 7 種の魚類の重要な種の生息情報があります。

長野県の調査区域には表 5-1-36 に示すとおり、6 目 8 科 10 種の魚類の重要な種の生息情報があります。

表 5-1-35 重要な魚類（山梨県）

No.	目名	科名	種名	選定根拠				
				文化財	保存法	山梨県条例	環境省RL	山梨県RDB
1	ウナギ	ウナギ	ウナギ				EN	DD
-	コイ	コイ	ゲンゴロウブナ				(EN)	
2			キンブナ				VU	
3		ドジョウ	ドジョウ				NT	DD
-			アジメドジョウ				(VU)	
4			ホトケドジョウ			特定	EN	VU
-	サケ	サケ	ニッコウイワナ				(DD)	(LP)
-			ヤマメ				(NT)	(LP)
5			アマゴ				NT	LP
6	ダツ	メダカ	メダカ				VU	VU
7	カサゴ	カジカ	カジカ				NT	N
5目6科7種				0種	0種	1種	7種	6種

注1) () は以下の理由により、当該事業では重要種として取り扱いしません。

・ゲンゴロウブナ、アジメドジョウ：当該地域において本種は移入種であるため

・ニッコウイワナ、ヤマメ：山梨県における本種の天然分布は多摩川水系および相模川(桂川)水系とされていることから(当該区域は富士川水系となります)、山梨県区域において確認されたニッコウイワナ・ヤマメについては、人為的な放流に由来すると考えられるため

注2) アマゴについては、在来個体群に限りです。

注3) カジカについては、河川環境等より大型と判断しました。

注4) リストに示した種のほか、イワナ類がヤマトイワナであった場合、山梨県RDBのLPに該当します。

※選定根拠の凡例は表 5-1-26 に示す

表 5-1-36 重要な魚類（長野県）

No.	目名	科名	種名	選定根拠				
				文化財	保存法	長野県条例	環境省RL	長野県RDB
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ類				VU	VU
2	ウナギ	ウナギ	ウナギ				EN	EW
-	コイ	コイ	ゲンゴロウブナ				(EN)	
3			キンブナ				VU	DD
4		ドジョウ	ドジョウ				NT	DD
5			ホトケドジョウ				EN	VU
6	ナマズ	アカザ	アカザ				VU	NT
7	サケ	アユ	アユ					CR
8		サケ	サクラマス				NT	NT
-			ヤマメ				NT	NT
9			サツキマス				NT	NT
-			アマゴ				NT	NT
10	カサゴ	カジカ	カジカ				NT	NT
6目8科10種				0種	0種	0種	9種	10種

注1) ヤマメはサクラマスの河川残留型、アマゴはサツキマスの河川残留型であることから、種数の合計からは除外しました。

注2) () は以下の理由により、当該事業では重要種として取り扱いしません。

・ゲンゴロウブナ：当該地域において本種は移入種であるため

注3) ヤマメー千曲川水系に生息する種が該当します。

注4) アマゴー富士川水系に生息する種が該当します。

注5) カジカについては、河川環境等より大型と判断しました。

注6) リストに示した種のほか、イワナ類がヤマトイワナであった場合は長野県RDBのNT、ニッコウイワナであった場合は環境省RLのDD及び長野県RDBのNTに該当します。

※選定根拠の凡例は表 5-1-26 に示す

e. 昆虫類

山梨県の調査区域には表 5-1-37 に示すとおり、5 目 20 科 55 種の昆虫類の重要な種の生息情報があります。

長野県の調査区域には表 5-1-38 に示すとおり、10 目 71 科 214 種の昆虫類の重要な種の生息情報があります。

表 5-1-37 重要な昆虫類（山梨県）

No.	目名	科名	種名	選定根拠					
				文化財	保存法	山梨県条例	環境省RL	山梨県RDB	
1	トンボ	イトトンボ	オオイトトンボ					DD	
2			モートンイトトンボ				NT	EN	
3		サナエトンボ	コサナエ					DD	
4		エゾトンボ	エゾトンボ					DD	
5	バッタ	クツワムシ	クツワムシ					NT	
6	カメムシ	コオイムシ	コオイムシ				NT	NT	
7			タガメ				VU	CR	
8	チョウ	セセリチョウ	ホシチャバネセセリ				EN	EN	
9			アカセセリ				EN	EN	
10			ギンイチモンジセセリ				NT	VU	
11			オオチャバネセセリ					NT	NT
12			チャマダラセセリ				EN	CR	
13			スジグロチャバネセセリ				NT	EN	
14			ヘリグロチャバネセセリ						VU
15			シジミチョウ	ウスイロオナガシジミ					VU
16				ミヤマシジミ				EN	EN
17				クロシジミ				EN	EN
18				ヒメシジミ本州・九州亜種				NT	VU
19				クロツバメシジミ				NT	VU
20				ヤマトシジミ本土亜種				NT	NT
21				シルビアシジミ本土亜種				EN	CR
22		タテハチョウ	コヒオドシ			指定		DD	
23			ウラギンスジヒョウモン				VU	NT	
24			ヒョウモンチョウ本州中部亜種				VU	VU	
25			コヒョウモン本州亜種					EN	
26			オオウラギンヒョウモン				CR	EX	
27			オオイチモンジ				指定	VU	DD
28			コヒョウモンモドキ				指定	EN	CR
29	ヒョウモンモドキ						CR	EX	
30	フタスジチョウ中部地方亜種				○			EN	
31	オオムラサキ							NT	N
32	アゲハチョウ	ヒメギフチョウ本州亜種					NT	NT	
33	シロチョウ	クモマツマキチョウ八ヶ岳・南アルプス亜種				指定	VU	VU	
34		ミヤマシロチョウ		県天		指定	EN	EN	
35		ツマグロキチョウ					EN	CR	
36		ヤマキチョウ					EN	NT	
37		ヒメシロチョウ					EN	VU	
38	ジャノメチョウ	クモマベニヒカゲ本州亜種				指定	NT	EN	
39		ベニヒカゲ本州亜種				指定	NT	VU	
40		キマダラモドキ					NT	VU	
41		クロヒカゲモドキ					EN	EN	
42		ウラジャノメ本州亜種						EN	
43		ウラナミジャノメ本土亜種					VU	EX	
44	ヤママユガ	オナガミズアオ					NT		
45	スズメガ	ヒメスズメ					NT	NT	
46	ヤガ	コシロシタバ					NT		
47		ミヤマキシタバ					NT	VU	
48	コウチュウ	ゲンゴロウ	ゲンゴロウ				VU	EN	
49			シマゲンゴロウ					NT	EN
50		ミズスマシ	ミズスマシ					VU	NT
51		ガムシ	ガムシ					NT	VU
52		クワガタムシ	オオクワガタ					VU	EN
53			ヒラタクワガタ本土亜種						NT
54		コガネムシ	ダイコクコガネ					VU	CR
55		カミキリムシ	トラフカミキリ						NT
5目20科55種				1種	1種	7種	42種	52種	

※選定根拠の凡例は表 5-1-26 に示す

表 5-1-38(1) 重要な昆虫類（長野県）

No.	目名	科名	種名	選定根拠				
				文化財	保存法	長野県条例	環境省RL	長野県RDB
1	カゲロウ	ガガンボカゲロウ	ガガンボカゲロウ					DD
2	トンボ	イトトンボ	モートンイトトンボ				NT	N
3		カワトンボ	アオハダトンボ				NT	NT
4			アサヒナカワトンボ				LP	
5			ヤンマ	カトリヤンマ				VU
6			サナエトンボ	オジロサナエ				VU
7				メガネサナエ				EN
8			エノトンボ	オオトラフトンボ				NT
9				ホソモリトンボ				NT
10				ハネビロエノトンボ				VU
11		カワゲラ		トワダカワゲラ	ミネトワダカワゲラ			
12		ヒロムネカワゲラ	ミヤマノギカワゲラ				NT	
13	カメムシ	テングスケバ	クロテングスケバ				NT	
14		クンバイウンカ	ヒシウンカモドキ				DD	
15		ツノカメムシ	フトハサミツノカメムシ				NT	
16		カメムシ	ヒメカメムシ				NT	
17		クスギカメムシ	ヨツモンカメムシ				NT	
18		コオイムシ	コオイムシ				NT	
19			オオコオイムシ				NT	
20			タガメ				VU	
21		タイコウチ	タイコウチ				EX	
22	シリアゲムシ	ガガンボモドキ	ガガンボモドキ				NT	
23		シリアゲムシ	スカシシリアゲモドキ				VU	
24	トビケラ	エグリトビケラ	クロモンエグリトビケラ				DD	
25	チョウ	マダラガ	ベニモンマダラ本土亜種				NT	
26		セセリチョウ	ホシチャバネセセリ				EN	
27			タカネキマダラセセリ南アルプス亜種	県天	○	CR	CR	
28			アカセセリ				EN	
29			ギンイチモンジセセリ				NT	
30			ミヤマチャバネセセリ				EN	
31			チャマダラセセリ				EN	
32			スジグロチャバネセセリ北海道・本州・九州亜種				CR	
33			ヘリグロチャバネセセリ				NT	
34		シジミチョウ	ヒサマツドリシジミ				NT	
35			ウラジロドリシジミ				NT	
36			キタアカシジミ北日本亜種				VU	
37			ウラナミアカシジミ				NT	
38			クロシジミ				EN	
39			オオゴマシジミ				EN	
40			ゴマシジミ本州中部亜種		○	CR	CR	
41			ヒメシジミ本州・九州亜種				NT	
42			ミヤマシジミ				EN	
43			アサマシジミ中部低地帯亜種	県天			EN	
44			オオルリシジミ本州亜種				CR	
45			ムモンアカシジミ				EN	
46			クロツバメシジミ東日本亜種				NT	
47		タテハチョウ	コヒオドシ	県天			NT	
48			ウラギンシジモウモン				VU	
49			ヒョウモンチョウ本州中部亜種				VU	
50			ヒメヒカゲ本州中部亜種				CR	
51			クモマベニヒカゲ本州亜種	県天			NT	
52			ベニヒカゲ本州亜種	県天			NT	
53			オオウラギンヒョウモン				CR	
54			キマダラモドキ				CR	
55			クロヒカゲモドキ				NT	
56			オオイチモンジ	県天		VU	EN	
57			コヒョウモンモドキ				VU	
58			ヒョウモンモドキ		○		CR	
59			オオヒカゲ				EN	
60			タカネヒカゲ八ヶ岳亜種	県天		CR	CR	
61			オオムラサキ				NT	
62		アゲハチョウ	ギフチョウ				VU	
63			ヒメギフチョウ本州亜種				NT	
64		シロチョウ	クモマツマキチョウ八ヶ岳・南アルプス亜種	県天		VU	VU	
65			ミヤマシロチョウ	県天		EN	EN	
66			ツマグロキチョウ				EN	
67			ヤマキチョウ				EN	
68			ヒメシロチョウ北海道・本州亜種				EN	
69		アゲハモドキガ	フジキオビ				DD	
70		シャクガ	トビスジヤエナミシャク				DD	
71		スズメガ	メンガタスズメ				DD	
72			ヒメスズメ				NT	
73			スキバホウジャク				VU	
74		シヤチコロガ	クワヤマエグリシヤチコロ				NT	
75		ヒトリガ	キハダカノ				NT	
76		ヤガ	ヒメキイロトウ				DD	
77			マツバラシラクモヨトウ				DD	
78			コシロシタバ				NT	
79			ナマリキシタバ				DD	
80			ホシヒメセダカモクメ				NT	
81			シロオビトウ				NT	
82			アサマツマキリアツバ				DD	

表 5-1-38(2) 重要な昆虫類（長野県）

No.	目名	科名	種名	選定根拠				
				文化財	保存法	長野県条例	環境省RL	長野県RDB
83	ハエ	アミカモドキ	ニホシアミカモドキ				VU	VU
84	コウチュウ	オサムシ	シンシュウマルガタゴミムシ					VU
85			ミヤマヒサゴゴミムシ					NT
86			クロカタビロオサムシ					NT
87			セアカオサムシ				NT	NT
88			オサムシモドキ					NT
89			ダイショウアトキリゴミムシ					NT
90			チョウセンマルクビゴミムシ					VU
91			ヤツチビマルクビゴミムシ					VU
92			ヤツオオナゴミムシ					NT
93		ゲンゴロウ	ゲンゴロウ				VU	NT
94			シマゲンゴロウ				NT	VU
95			ケンゲンゴロウ				NT	NT
96			ヒメケンゲンゴロウ				VU	
97			オオヒメゲンゴロウ					NT
98		ミズスマシ	ヒメミズスマシ				EN	VU
99			ミズスマシ				VU	VU
100			ツマキレオナガミズスマシ				VU	
101		コガシラミズムシ	ヒメコガシラミズムシ					NT
102		ガムシ	コガムシ				DD	N
103			ガムシ					NT
104			シジミガムシ				EN	DD
105		エンマムシモドキ	エンマムシモドキ					NT
106		シデムシ	ベッコウヒラタシデムシ					NT
107			ホンドヒロオビモンシデムシ					NT
108			カバイロヒラタシデムシ					NT
109			ヒメヒラタシデムシ					NT
110		ムネアカセンチコガネ	ムネアカセンチコガネ					NT
111		クワガタムシ	ツヤハダクワガタ中部亜種					NT
112			ヒメオオクワガタ					NT
113			チチブコリクワガタ					NT
114			ルリクワガタ					NT
115			ホソツヤルリクワガタ					NT
116		コガネムシ	ヒゲトハナムグリ					NT
117			セマルオオマゴソコガネ					VU
118			ツヤケシマゴソコガネ					VU
119			ヒメキイロマゴソコガネ					CR+EN
120			クロモンマゴソコガネ				NT	CR+EN
121			ゴホンダイコクコガネ					VU
122			ダイコクコガネ				VU	CR+EN
123			ミヤマダイコクコガネ					NT
124			カバイロアシナガコガネ					DD
125			オオヒラタハナムグリ					NT
126			シナノエンマコガネ					VU
127			マルエンマコガネ					VU
128			オオチャイロハナムグリ				NT	VU
129			シラホシハナムグリ					VU
130			フチグロチャイロコガネ					VU
131		マルトゲムシ	キヌゲマルトゲムシ					VU
132		ヒメドロムシ	ケスジドロムシ				VU	
133		タマムシ	アオナガタマムシ					NT
134			アオタマムシ					VU
135			ハビロキンヘリタマムシ					CR+EN
136			クサビチビタマムシ					DD
137		ホソクシヒゲムシ	ムネアカクシヒゲムシ					NT
138		コメツキムシ	アズサチビコメツキ					VU
139			ミヤマタテスジコメツキ					NT
140			ミヤマホソチャバネコメツキ					NT
141			タカネクロコメツキ					VU
142			ダンダラコメツキ					NT
143			オオクロナガコメツキ					NT
144			ミヤマヒサゴコメツキ					NT
145			ホウオウコメツキ					VU
146			フタキボシカネコメツキ					NT
147			ヤツクシヒゲヒラタコメツキ					VU
148		ジョウカイボン	ダイモンクビボソジョウカイ					NT
149			キシキビボソジョウカイ					NT
150		ホタル	ゲンジボタル					NT
151			ハイケボタル					NT
152			ヒメボタル					NT
153		コクヌスト	カバイロコクヌスト					VU
154		テントウムシ	アイヌテントウ					NT
155			ココノホシテントウ					NT
156			ヤマトアザミテントウ					NT
157			ジョウサンホシテントウ					NT
158			ジョウロクホシテントウ					NT
159		キスイムシ	ハナバチキドリキスイ					NT
160		ヒラタムシ	ルリヒラタムシ					NT
161		オオキノコムシ	ヤツガタケキスジチビオオキノコムシ					NT
162		ケンキスイ	シリグロオオケンキスイ					NT

表 5-1-38(3) 重要な昆虫類（長野県）

No.	目名	科名	種名	選定根拠				
				文化財	保存法	長野県条例	環境省RL	長野県RDB
163	コウチュウ	アリモドキ	キスジヘリハネムシ					NT
164			タカネヘリハネムシ					NT
165		クビナガムシ	カクズクビナガムシ					NT
166			ツメボソクビナガムシ					VU
167		ナガクチキムシ	ヒイロホソナガクチキ					NT
168			ヨツボシホソナガクチキ					CR+EN
169			タカネクロナガクチキ					VU
170			ムネアカナガクチキ					NT
171			オオツツホソナガクチキ					NT
172		ツチハンミョウ	マルクビツチハンミョウ					NT
173		アカハネムシ	ツチイロビロウドムシ					NT
174		キカワムシ	オオキカワムシ					NT
175		コブゴミムシダマシ	ミヤマヨロミコブゴミムシダマシ					NT
176		カミキリムシ	シナノサビカミキリ					CR+EN
177			フトキクスイモドキカミキリ					DD
178			アカアシオオアカカミキリ					NT
179			オトメクビアカナカミキリ					VU
180			アカムネハナカミキリ				VU	CR+EN
181			フタスジゴマフカミキリ					NT
182			エゾトゲムネカミキリ					NT
183			ベニバハナカミキリ					NT
184			シナノヒメハナカミキリ					NT
185			タカネヒメハナカミキリ					VU
186			アラメハナカミキリ					NT
187	ヤツボシカミキリ						VU	
188	ヨツボシカミキリ					EN	VU	
189	ハセガワトラカミキリ						VU	
190	トラフカミキリ						NT	
191	キジマトラカミキリ						NT	
192	ハムシ		スジグロオオハムシ					DD
193	オトシブミ		サメハダハマキチョッキリ					DD
194	ソウムシ		フタバアナアキノウムシ					VU
195			クロツツキクイソウムシ					NT
196	ハチ	アリ	ツノアカヤマアリ				DD	NT
197			タカネクロヤマアリ					DD
198			エゾアカヤマアリ				VU	NT
199			テラニシクサアリ				NT	DD
200			クロキクシケアリ					DD
201			トゲアリ				VU	NT
202		スズメバチ	ヤドリホオナガスズメバチ				DD	
203			キオビホオナガスズメバチ					DD
204			ニッポンホオナガスズメバチ				DD	
205			モンズズメバチ				DD	DD
206			キオビクロズズメバチ					DD
207		クモバチ	フタモンクモバチ				NT	DD
208		ドロバチモドキ	ニッポンハナダカバチ				VU	DD
209		ミツバチ	ナガマルハナバチ				DD	DD
210			ハイイロマルハナバチ本州亜種					VU
211			クロマルハナバチ				NT	NT
212			ニッポンヤドリマルハナバチ					DD
213			ウスリーマルハナバチ				DD	VU
214	ハキリバチ		キバラハキリバチ				NT	
			10目71科214種	9種	3種	8種	80種	205種

※選定根拠の凡例は表 5-1-26 に示す

f. 貝類

山梨県の調査区域には表 5-1-39 に示すとおり、1 綱 1 目 1 科 1 種の貝類の重要な種の生息情報があります。

長野県の調査区域には表 5-1-40 に示すとおり、1 綱 4 目 5 科 7 種の貝類の重要な種の生息情報があります。

表 5-1-39 重要な貝類（山梨県）

No.	綱名	目名	科名	種名	選定根拠				
					文化財	保存法	山梨県条例	環境省RL	山梨県RDB
1	腹足	新生腹足	タニシ	マルタニシ				VU	
1綱1目1科1種					0種	0種	0種	1種	0種

※選定根拠の凡例は表 5-1-26 に示す

表 5-1-40 重要な貝類（長野県）

No.	綱名	目名	科名	種名	選定根拠				
					文化財	保存法	長野県条例	環境省RL	長野県RDB
1	腹足	新生腹足	タニシ	マルタニシ				VU	NT
2				オオタニシ				NT	NT
3				モノアラガイ				NT	NT
4	汎有肺		モノアラガイ	ヒラマキガイ				DD	N
5				ヒラマキガイモドキ				NT	NT
6	二枚貝	イシガイ	イシガイ	カラスガイ				NT	N
7		マルスタレガイ	シジミ	ヤマトシジミ				NT	
1綱4目5科7種					0種	0種	0種	7種	6種

※選定根拠の凡例は表 5-1-26 に示す

(2) 植物の生育状況

調査区域における植物の生育の状況について、山梨県は表 5-1-41 に、長野県は表 5-1-42 に示す文献資料をもとに整理しました。

表 5-1-41 植物に関する文献資料一覧（山梨県）

No.	文献資料名等
1	「山梨県植物誌」（昭和 57 年 3 月 25 日、山梨県県民生活局環境公害課）
2	「山梨の植物誌」（昭和 56 年 3 月 30 日、植松春雄）
3	「山梨県の主要動植物」（昭和 47 年、山梨県教育委員会）
4	「大泉村誌 上巻」（平成元年 3 月 31 日、大泉村誌編纂委員会）
5	「高根町誌 通史編 上巻」（平成 2 年 11 月 30 日、高根町）
6	「長坂町誌 上巻」（平成 2 年 3 月 31 日、長坂町）
7	「2018 山梨県レッドデータブックー山梨県の絶滅のおそれのある野生生物ー」（平成 30 年 3 月、山梨県）

表 5-1-42 植物に関する文献資料一覧（長野県）

No.	文献資料名等
1	「南佐久郡高等植物目録」（平成 2 年、南佐久郡誌刊行会）
2	「長野県レッドリスト（植物編）2014」（平成 26 年 3 月、長野県） 「長野県版レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～ 非維管束植物編・植物群落編」（平成 17 年 3 月、長野県） 「長野県版レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～ 維管束植物編」（平成 14 年 3 月、長野県）
3	「長野県植物誌」（平成 9 年、長野県植物誌編纂委員会）
4	「長野県外来植物目録（2018 年版）」（平成 30 年 3 月、長野県外来植物目録編纂委員会）
5	「南牧村誌」（昭和 61 年、長野県南佐久郡南牧村誌編さん委員会）
6	「小海町志」（昭和 48 年、小海町志刊行委員会）
7	「八千穂村誌 自然編」（平成 14 年、八千穂村誌刊行会）
8	「佐久町誌 自然編」（平成 2 年、佐久町誌刊行会）
9	「南相木村誌 南相木の自然」（平成 18 年、南相木村）
10	「北相木村誌」（昭和 52 年、北相木村誌刊行委員会）

1) 植物相の状況

山梨県の調査区域には、157科 1,672種の植物の生育情報があります。調査区域の植物の特徴は、「山梨の植物誌」(1981年、植松春雄)によると、標高1,500m程度の地域では、カスミザクラ、ミヤマザクラ、レンゲツツジ、オオヤマツツジ、シラカンバ、タチコゴメグサ、クガイソウ、ヤナギラン、キキョウ、オミナエシ、ススキ、ウシコロシ、シモツケソウ、アオナシ、ヤエガワカンバ、サワギキョウ、キスゲ、シモツケ、ニガイチゴ、アカマツ等の高原性の植物が目立つとされています。このなかでも朝鮮、中国北部、東シベリア等内陸地方に分布の本拠があると考えられている大陸系要素の植物としてアオナシやヤエガワカンバがあげられています。また、標高900m~1,000m付近に湧水が多く、モウセンゴケ、サクラソウ、カイタカラコウ、ザゼンソウ、リュウキンカ、ハルリンドウ等が生育している湿地が点在しています。

長野県の調査区域には、169科 2,375種の植物の生育情報があります。調査区域は本州の中央部に位置し、太平洋側の気候条件とはいえ、日本海側の気候の影響もあり、地質的にもフォッサ・マグナ地域である上に、地形的に標高650m~2,500m近くまでの広がりを持つため植物相も複雑です。植物相は、日本全土に普通に分布するミヤマイタチシダ、ヒメヤシャブシ、ブナ、ワラビ、コメツツジ等の種が多く含まれ、氷河期以降に気候の温暖化に伴い南方から北上してきたハコネシダ、イヌガヤ、シラカシ、イロハモミジ、アキノハハコグサ等の暖地性の植物も多く分布しています。また、八ヶ岳や金峰山等の高山には、反対に氷河期に北方から分布を広げたダケカンバ、ミヤマハンノキ、イワベンケイ等の高山植物が分布しています。

2) 植物の重要な種及び群落の生育状況

学術上又は希少性の観点から重要な種及び群落の選定基準を表 5-1-43 に示します。

表 5-1-43(1) 重要な種の選定基準

区分	根拠とする法令・条例及び文献		ランク区分	
	記号	名 称	記号	名 称
共通	文化財	「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号) に基づく国、県指定の天然記念物	特天	国指定特別天然記念物
			国天	国指定天然記念物
			県天	県指定天然記念物
	保存法	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年 6 月 5 日法律第 75 号)	特定国内	特定国内希少野生動植物種
			○	国内希少野生動植物種
				国際希少野生動植物種
				緊急指定種
	環境省 RL	「環境省レッドリスト 2019 の公表について」(平成 31 年 1 月 24 日発表：環境省ホームページ) の掲載種	EX	絶滅
			EW	野生絶滅
			CR	絶滅危惧 IA 類
			EN	絶滅危惧 IB 類
			VU	絶滅危惧 II 類
			NT	準絶滅危惧
DD			情報不足	
LP	絶滅のおそれのある地域個体群			
山梨県	山梨県条例	「山梨県希少野生動植物種の保護に関する条例」(平成 19 年 7 月 9 日山梨県条例第 34 号)	特定	特定希少野生動植物種
			指定	指定希少野生動植物種
	山梨県 RDB	「2018 山梨県レッドデータブック ―山梨県の絶滅のおそれのある野生生物―」(平成 30 年 3 月、山梨県)	EX	絶滅
			EW	野生絶滅
			CR	絶滅危惧 IA 類
			EN	絶滅危惧 IB 類
			VU	絶滅危惧 II 類
			NT	準絶滅危惧
			DD	情報不足
			LP	絶滅のおそれのある地域個体群
N	要注目種			
長野県	長野県条例	「長野県希少野生動植物保護条例」(平成 15 年 3 月 24 日長野県条例第 32 号)	特別	特別指定希少野生動植物
			指定	指定希少野生動植物
	長野県 RDB	「長野県版レッドリスト (植物編) 2014」(平成 26 年 3 月、長野県)	EX	絶滅
			EW	野生絶滅
			CR+EN	絶滅危惧 I 類 (IA+IB)
			CR	絶滅危惧 IA 類
			EN	絶滅危惧 IB 類
			VU	絶滅危惧 II 類
			NT	準絶滅危惧
			DD	情報不足
LP	絶滅のおそれのある地域個体群			

表 5-1-43(2) 重要な群落の選定基準

区分	根拠とする法令・条例及び文献		ランク区分	
	記号	名 称	記号	名 称
共通	文化財	「文化財保護法」(昭和25年5月30日法律第214号)に基づく国、県、市町村指定の天然記念物	特天	国指定特別天然記念物
			国天	国指定天然記念物
			県天	県指定天然記念物
	群落 RDB	「植物群落レッドデータブック」(平成8年4月15日、(財)日本自然保護協会ほか)に掲載されている植物群落	○	ランク4: 緊急に対策必要
				ランク3: 対策必要
				ランク2: 破壊の危惧
				ランク1: 要注意
	自然1	「第1回自然環境保全基礎調査 山梨県すぐれた自然区」(昭和51年、環境庁)、「第1回自然環境保全基礎調査 長野県すぐれた自然区」(昭和51年、環境庁)に掲載されている植物群落	○	植物群落
	群落 I	「日本の重要な植物群落(甲信越版)」(昭和55年2月15日、環境庁)に掲載されている特定植物群落	A	原生林もしくはそれに近い自然林
			B	国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落または個体群
C			比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落または個体群	
D			砂丘、断崖地、塩沢地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの	
G			乱獲その他人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群	
H			その他、学術上重要な植物群落または個体群	
群落 II	「日本の重要な植物群落II 甲信越版」(昭和63年8月30日、環境庁)に掲載されている特定植物群落	(記号、名称は群落 I と共通)		
自然5	「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成12年3月、環境庁自然保護局 生物多様性センター)に掲載されている特定植物群落	(記号、名称は群落 I と共通)		
長野県	長野県 RDB	○	A ランク: 植物群落保護上の重要性がきわめて高いもの	
長野県 RDB	「長野県版レッドリスト(植物編)2014」(平成26年3月、長野県)		B ランク: 植物群落保護上の重要性が高いもの	
			C ランク: 植物群落保護の必要性が考えられるもの	

a. 重要な植物種

山梨県の調査区域には表 5-1-44 に示すとおり、71 科 236 種の植物の重要な種の生育情報があります。

長野県の調査区域には表 5-1-45 に示すとおり、83 科 351 種の植物の重要な種の生育情報があります。

表 5-1-44(1) 重要な植物種（山梨県）

No.	科名	種名	選定根拠				
			文化財	保存法	山梨県条例	環境省RL	山梨県RDB
1	ヒカゲノカズラ	ヒメスギラン					CR
2		アスヒカズラ					VU
3		コスギラン					EN
4	トクサ	トクサ					EN
5	ハナヤスリ	ヒメハナワラビ				VU	EN
6		ヒロハハナヤスリ					EN
7	コバノイシカグマ	フジシダ					CR
8	ミズワラビ	ヒメウラジロ				VU	CR
9		ミヤマウラジロ					VU
10		カラクサシダ					CR
11	イノモトソウ	ヤツガタケシノブ				NT	CR
12	チャセンシダ	ヒメイトラノオ					EN
13		イチョウシダ				NT	CR
14		アオチャセンシダ					EN
15	シシガシラ	コモチシダ					VU
16	オンダ	カラフトメンマ					VU
17		タカネシダ				CR	EN
18		イナツルデンダ					CR
19	ヒメシダ	タチヒメワラビ					EN
20		ハシゴシダ					VU
21	メシダ	ナヨシダ					VU
22		ウサギシダ					EN
23		エビラシダ					EN
24		イワウサギシダ					CR
25		キンモウワラビ				VU	CR
26		トガクシデンダ					EN
27		コガネシダ					CR
28	ウラボシ	ホテイシダ					VU
29		オシヤクジデンダ					NT
30	ヒメウラボシ	オオクボシダ					CR
31	サンショウモ	サンショウモ				VU	NT
32	マツ	ヤツガタケトウヒ				EN	CR
33		ヒメバラモミ				VU	EN
34	スギ	スギ					EN
35	ヒノキ	ミヤマビャクシン					EN
36	ヤナギ	コマイワヤナギ				VU	VU
37		シライヤナギ					VU
38	カバノキ	ハンノキ					NT
39		ヤエガワカンバ				NT	NT
40		ハシバミ					VU
41	ブナ	アカガシ					VU
42	ヤドリギ	ホザキヤドリギ					CR
43		マツグミ					EN
44	ヤマゴボウ	ヤマゴボウ					CR
45	ナデシコ	タガソデソウ				VU	CR
46		オオピランジ				NT	VU
47		タカネピランジ			特定		EN
48		シコタンハコベ				VU	CR

表 5-1-44(2) 重要な植物種（山梨県）

No.	科名	種名	選定根拠				
			文化財	保存法	山梨県条例	環境省RL	山梨県RDB
49	キンボウゲ	ミチノクフクジュソウ				NT	EN
50		フクジュソウ					EN
51		キクザキイチゲ					EN
52		アズマイチゲ					EN
53		リュウキンカ					CR
54		オキナグサ				VU	EN
55		コキツネノボタン				VU	EN
56		バイカモ					VU
57		ヤツガタケキンボウゲ				CR	
58		ヒメカラマツ					CR
59	メギ	ヘビノボラス					EN
60		サンカヨウ					EN
61	スイレン	ヒツジグサ			指定		EN
62	ボタン	ヤマシャクヤク				NT	NT
63		ベニバナヤマシャクヤク			特定	VU	CR
64	オトギリソウ	アゼオトギリ				EN	
65	モウセンゴケ	モウセンゴケ					EN
66	ケン	コマクサ					DD
67		オサバグサ					DD
68	アブラナ	フジハタザオ					NT
69		クモイナズナ				VU	CR
70		コンロンソウ					NT
71		クモマナズナ				VU	VU
72	ベンケイソウ	イワレンゲ				VU	
73		ツメレンゲ				NT	VU
74	ユキノシタ	コチャルメルソウ					EN
75		シラヒゲソウ					EN
76		ヤワタソウ					EN
77		ヤシヤビシヤク				NT	EN
78		ムカゴユキノシタ					CR
79		シコタンソウ					EN
80		ジンジソウ					NT
81	バラ	エゾノコリンゴ					NT
82		キンロバイ				VU	EN
83		アオナシ				VU	NT
84		イワシモツケ					CR
85	マメ	タヌキマメ					CR
86		レンリソウ					EN
87		イヌハギ				VU	VU
88	カタバミ	オオヤマカタバミ				VU	VU
89	フウロソウ	アサマフウロ				NT	VU
90	ヒメハギ	ヒナノキンチャク				EN	CR
91	カエデ	カラコギカエデ					VU
92	モチノキ	フウリンウメモドキ					VU
93	スマレ	コミヤマスマレ					VU
94		ミヤマスマレ					EN
95		ヒメスマレサイシン					NT
96	アリノトウグサ	アリノトウグサ					EN
97		タチモ				NT	
98	セリ	ミシマサイコ				VU	
99		ドクゼリ					CR
100		ヤマナシウマノミツバ				EN	EN
101	ツツジ	イワナンテン					VU
102		サツキ					CR
103		ダイセンミツバツツジ					VU
104		シロヤシオ					VU
105		バイカツツジ					NT
106		ハコネコメツツジ			特定	VU	VU
107		サクラソウ	クリンソウ				
108	クモイコザクラ				特定	VU	NT
109	ユキワリソウ				特定		CR
110	コイワザクラ					VU	
111		サクラソウ				NT	VU

表 5-1-44(3) 重要な植物種（山梨県）

No.	科名	種名	選定根拠				
			文化財	保存法	山梨県条例	環境省RL	山梨県RDB
112	モクセイ	ヤチダモ					CR
113		ハシドイ					VU
114	リンドウ	ヒナリンドウ				CR	
115		ハルリンドウ					EN
116		エゾリンドウ					EN
117		イヌセンブリ				VU	
118		センブリ					NT
119		ミヤマアケボノソウ			特定		CR
120		ムラサキセンブリ				NT	EN
121	ガガイモ	フナバラソウ				VU	EN
122		スズサイコ				NT	VU
123		コカモメソウ					EN
124	アカネ	アリドオシ					CR
125		ツルアリドオシ					EN
126	ヒルガオ	マメダオシ				CR	EN
127	ムラサキ	ムラサキ				EN	EN
128	シソ	カイジンドウ				VU	VU
129		ツルカコソウ				VU	CR
130		ニシキゴロモ					EN
131		ムシヤリンドウ				VU	
132		マネキグサ				NT	EN
133		キセウタ				VU	EN
134		ヤマジソ				NT	
135		ミゾウジュ				NT	VU
136	ナス	アオホオズキ				VU	CR
137	ゴマノハグサ	タカネママコナ				VU	EN
138		エゾシオガマ					EN
139		ヒキヨモギ					EN
140		イヌノフグリ				VU	EN
141		カワヂシャ				NT	NT
142	ハマウツボ	ナンバンギセル					DD
143		オオナンバンギセル					CR
144		オニク					CR
145	タヌキモ	ムシトリスミレ			特定		CR
146		タヌキモ				NT	CR
147	スイカズラ	リンネソウ					CR
148		チシマヒョウタンボク				VU	EN
149		コゴメヒョウタンボク				EN	
150		ニッコウヒョウタンボク					EN
151		ハヤザキヒョウタンボク					EN
152		キバナウツギ					VU
153	キキョウ	バアソブ				VU	EN
154		キキョウ				VU	NT
155	キク	タカネヤハズハハコ					EN
156		タウコギ					EN
157		オオガクビソウ					CR
158		エゾムカシヨモギ					EN
159		アズマギク					CR
160		アキノハハコグサ				EN	CR
161		タカサゴソウ				VU	CR
162		オオモミジガサ					EN
163		ヒメヒゴタイ				VU	EN
164		キクアザミ					EN
165		コウリンカ				VU	NT
166		オカオグルマ					VU
167		タカネコウリンカ				NT	VU
168		オナモミ				VU	VU
169	オモダカ	ヘラオモダカ					NT
170		アギナシ				NT	VU
171	トチカガミ	スプタ				VU	
172	ヒルムシロ	フトヒルムシロ					VU
173		イトモ				NT	EN

表 5-1-44(4) 重要な植物種（山梨県）

No.	科名	種名	選定根拠					
			文化財	保存法	山梨県条例	環境省RL	山梨県RDB	
174	ユリ	ゼンテイカ					NT	
175		カノユリ				VU		
176		ホソバナアマナ					EN	
177		ヒメイズイ					NT	
178		チシマゼキショウ					EN	
179		アマナ					NT	
180		ムラサキタカネアオヤギソウ					CR	
181		ヒガンバナ	キツネノカミソリ					VU
182	アヤメ	ヒオウギ					EN	
183		ヒメジャガ				NT	CR	
184		カキツバタ				NT		
185	イグサ	ミヤマイ				NT		
186		エゾイトイ				CR		
187		クモマスズメノヒエ				NT	VU	
188	イネ	ミヤマコウボウ					EN	
189		ヒロハノハネガヤ					EN	
190		アワガエリ					DD	
191		タチイチゴツナギ				EN		
192	サトイモ	ウランマソウ					NT	
193	ミクリ	ミクリ				NT	CR	
194		ナガエミクリ				NT	CR	
195	カヤツリグサ	ヒラギシスゲ					DD	
196		カサスゲ					VU	
197		ヒナスゲ					NT	
198		ハマスゲ					NT	
199		サギスゲ					CR	
200		コマツカサススキ					CR	
201		マツカサススキ					VU	
202		フトイ					EN	
203		カンガレイ					VU	
204		ラン	エビネ				NT	VU
205			ギンラン					VU
206	キンラン					VU	EN	
207	アオチドリ						VU	
208	サイハイラン						VU	
209	アツモリソウ			○	特定	VU	CR	
210	イチヨウラン						EN	
211	コイチヨウラン						EN	
212	トラキチラン					EN	CR	
213	ツチアケビ						EN	
214	オノノヤガラ						VU	
215	ツリシュスラン						CR	
216	ノビネチドリ						EN	
217	テガタチドリ						VU	
218	ミヤマモジズリ						NT	
219	ムカゴソウ					EN	EN	
220	コハクラン					CR	CR	
221	セイトカスズムシソウ						CR	
222	ジガバチソウ						VU	
223	スズムシソウ						EN	
224	ホザキイチヨウラン						NT	
225	ヒメムヨウラン					VU	VU	
226	ハクサンチドリ						EN	
227	カモメラン				特定	NT	VU	
228	ウチヨウラン					VU	CR	
229	ニョボウチドリ				特定	NT	EN	
230	ミズチドリ					VU		
231	ヤマサギソウ					VU		
232	オオヤマサギソウ					CR		
233	トキシソウ				NT	EW		
234	ヤマトキシソウ					EN		
235	ヒトツボクロ					VU		
236	ヒロハトシボソウ				VU	CR		
71科236種			0種	1種	11種	92種	219種	

※選定根拠の凡例は表 5-1-43 に示す

表 5-1-45(1) 重要な植物種（長野県）

No.	科名	種名	選定根拠				
			文化財	保存法	長野県窓例	環境省RL	長野県RDB
1	ヒカゲノカズラ	ヤチスギラン					NT
2	イワヒバ	コケスギラン					CR
3	ミズニラ	ヒメミズニラ				NT	EN
4		ミズニラ				NT	EN
5	トクサ	イヌスギナ					NT
6	ハナヤスリ	オオハナワラビ					NT
7		ヒメハナワラビ				VU	NT
8	コケシノブ	チチブホラゴケ					EN
9	ミズワラビ	ヒメウラジロ				VU	VU
10		ヤツガタケシノブ				NT	EN
11	シシラン	イトシシラン				CR	DD
12	チャセンシダ	シモツケスリトラノオ					CR
13		トキワトラノオ					VU
14		イチョウシダ				NT	NT
15	オンダ	オクヤマシダ					EN
16		イワカゲワラビ				VU	VU
17		イナデシダ				NT	EN
18		タカネシダ				CR	EN
19	メシダ	エビラシダ					NT
20	ウラボシ	イワオモダカ					VU
21	デンジソウ	デンジソウ				VU	EN
22	サンショウモ	サンショウモ				VU	VU
23	アカウキクサ	アカウキクサ				EN	EN
24		オオアカウキクサ				EN	EN
25	マツ	イラモミ					NT
26		ヤツガタケトウヒ				EN	CR
27		ヒメバラモミ				VU	VU
28		アズサバラモミ					CR
29		ヒメマツハダ					VU
30	ヒノキ	ミヤマビャクシン					VU
31	ヤナギ	チチブヤナギ					EN
32		コマイワヤナギ				VU	NT
33	カバノキ	チチブミネバリ				EN	CR
34		コオノオレ				NT	NT
35		ジゾウカンバ					VU
36	イラクサ	タチゲヒカゲミズ				VU	VU
37		コケミズ					EN
38	タデ	ハルトラノオ					NT
39		ウナギツカミ					DD
40		ホソバユスタデ				NT	
41		ナガバノウナギツカミ				NT	
42		サデクサ					CR
43		ヌカボタデ				VU	DD
44		ノダイオウ				VU	N
45	ナデシコ	タガソデソウ				VU	NT
46		エンビセンノウ			指定	VU	EN
47		ナンブワチガイソウ				VU	CR
48		オオビランジ				NT	VU
49		ビランジ					EN
50		エゾオオヤマハコベ					EN
51		シコタンハコベ				VU	NT
52		アオハコベ					CR
53	アカザ	ミドリアカザ					NT
54	キンポウゲ	センウズモドキ				VU	VU
55		キタザワブシ				VU	NT
56		フクジュソウ					NT
57		イチリンソウ					NT
58		レンゲショウマ					NT
59		エンコウソウ					VU
60		オウレン					EN
61		チチブシロカネソウ					NT
62		オキナグサ			指定	VU	EN
63		ツクモグサ			特別指定	EN	CR
64		ヒキノカサ				VU	VU
65		イチョウバイカモ					CR
66		ヤツガタケキンポウゲ				CR	CR
67		セツブンソウ				NT	VU
68		ヒメカラマツ					VU
69		マンセンカラマツ				EN	N
70		シキンカラマツ					NT
71		イワカラマツ				VU	VU

表 5-1-45(2) 重要な植物種（長野県）

No.	科名	種名	選定根拠				
			文化財	保存法	長野県条例	環境省RL	長野県RDB
72	キンボウゲ	ノカラマツ				VU	VU
73		キンバイソウ					NT
74	メギ	オオバメギ					NT
75	スイレン	ジュンサイ					NT
76	マツモ	マツモ					EN
77	ウマノスズクサ	マルバウマノスズクサ				VU	VU
78	ボタン	ヤマシャクヤク			指定	NT	VU
79		ベニバナヤマシャクヤク			指定	VU	EN
80	オトギリソウ	フジオトギリ					DD
81		アカテンオトギリ					NT
82	ケシ	ツルキケマン				EN	EN
83		ナガミノツルキケマン				NT	
84		ヤマブキノソウ					VU
85	アブラナ	ヘラハタザオ				CR	CR
86		ハナハタザオ				CR	EX
87		キタダケナズナ				EN	
88		クモマナズナ				VU	NT
89		ヤツガタケナズナ				EN	CR
90	ベンケイソウ	チチッパベンケイ					VU
91		アオベンケイ					EN
92		ツメレンゲ				NT	NT
93		マルバマンネングサ					VU
94		チチブベンケイ					CR
95	ユキノシタ	ハナネコノメ					VU
96		ウメウツギ				VU	
97		シラヒゲソウ			指定		VU
98		ヤワタソウ					NT
99		ヤシヤビシヤク				NT	VU
100		ムカゴユキノシタ					CR
101	バラ	チョウセンキンミズヒキ				VU	NT
102		ツチグリ				VU	
103		ハクロバイ					EN
104		キンロバイ				VU	EN
105		ウラジロキンバイ				VU	VU
106		マメザクラ					NT
107		アオナシ				VU	N
108		ミチノクナシ				EN	
109		サナギイチゴ				VU	N
110	マメ	モメンヅル					NT
111		リシリオウギ				VU	VU
112		サイカチ					NT
113		レンリソウ					NT
114		イヌハギ				VU	N
115		ヤマフジ					EN
116	カタバミ	オオヤマカタバミ				VU	NT
117	フウロソウ	カイフウロ				VU	EN
118		イチゲフウロ					CR
119		アサマフウロ				NT	NT
120	アマ	マツバニンジン				CR	EN
121	トウダイグサ	ノウルシ				NT	EN
122		ニシキソウ					VU
123	カエデ	シバタカエデ				EN	EN
124	シナノキ	カラスノゴマ					NT
125	ジンチョウゲ	チョウセンナニワズ				VU	NT
126	スマレ	タカネスミレ				NT	
127		タチスマレ				VU	
128	ミソハギ	ミズマツバ				VU	VU
129	ヒシ	ヒメビシ				VU	CR
130	アカバナ	ヤマタニタデ				VU	
131		エゾアカバナ					CR
132	アリトウグサ	フサモ					NT
133	ウコギ	ミヤマウコギ					CR
134	セリ	イワニンジン					EN
135		ミヤマニンジン					VU
136		ヤマナシウマノミツバ				EN	VU
137		クロバナウマノミツバ					NT
138		サワゼリ				VU	
139	ツツジ	ヨウラクツツジ				VU	
140		アカヤシオ					NT
141		ハコネコメツツジ				VU	CR

表 5-1-45(3) 重要な植物種（長野県）

No.	科名	種名	選定根拠					
			文化財	保存法	長野県条例	環境省RL	長野県RDB	
142	サクラソウ	ミヤマタゴボウ					NT	
143		ノジトラノオ				VU	VU	
144		クモイコザクラ			指定	VU	CR	
145		ユイワザクラ			指定	VU	CR	
146		サクラソウ			指定	NT	VU	
147	ハイノキ	クロミノニシゴリ					EN	
148	リンドウ	ヒナリンドウ				CR	CR	
149		コケリンドウ					CR	
150		ハルリンドウ					NT	
151		オノエリンドウ				EN	NT	
152		ヒメセンブリ				EN	CR	
153		ホソバツルリンドウ				VU	NT	
154		センブリ					NT	
155		ムラサキセンブリ				NT	VU	
156		ミツガシワ	アサザ				NT	VU
157		ガガイモ	フナバラソウ				VU	VU
158	ツルガシワ						CR	
159	スズサイコ					NT	NT	
160	コバノカモメヅル						EN	
161		コカモメヅル					NT	
162	アカネ	ハナムグラ				VU	CR	
163		ヤツガタケムグラ				CR	VU	
164	ヒルガオ	マメダオシ				CR	CR	
165	ムラサキ	イヌムラサキ					CR	
166		ムラサキ				EN	CR	
167		ツルカメバソウ				EN	NT	
168	シソ	カイジンドウ				VU	NT	
169		ツルカコソウ				VU	NT	
170		タニジャコウソウ				NT		
171		ミヤマククルマバナ					NT	
172		ムシヤリンドウ				VU	VU	
173		フトボナギナタコウジュ					VU	
174		チシマオドリコソウ					VU	
175		アキチョウジ					VU	
176		タイリンヤマハッカ					NT	
177		メハジキ					NT	
178		キセワタ				VU	N	
179		ヤマジソ				NT	NT	
180		シナノアキギリ				VU	VU	
181		ミゾコウジュ				NT	CR	
182		エゾタツナミソウ					VU	
183		ミヤマナミキ					VU	
184	ナス	ハダカホオズキ					VU	
185	ゴマンノハグサ	サワウガラシ					NT	
186		アブノメ					CR	
187		アゼトウガラシ					NT	
188		タカネママコナ				VU	NT	
189		ツシマママコナ					NT	
190		ルリトラノオ				VU		
191		オオヒナノウスツボ					NT	
192		ヒキヨモギ					NT	
193		イヌノフグリ				VU	VU	
194		カワヂシャ				NT	NT	
195	ウルップソウ	ウルップソウ				NT	EN	
196	ハマウツボ	オニク					NT	
197	タヌキモ	イヌタヌキモ				NT	NT	
198		タヌキモ				NT	CR	
199		ヒメタヌキモ				NT	VU	
200	スイカズラ	クロミノウグイスカグラ					VU	
201		マルバヨミ					EN	
202		チシマヒョウタンボク				VU	CR	
203		ヤブヒョウタンボク				EN		
204		コゴメヒョウタンボク				EN	NT	
205		ハナヒョウタンボク				VU	VU	
206		ニッコウヒョウタンボク					EN	
207		オニヒョウタンボク				VU	NT	
208		ツキシキソウ			指定	VU	VU	
209			キバナウツギ					EN
210		オミナエシ	カノコソウ					EN
211	ツルカノコソウ						EN	

表 5-1-45(4) 重要な植物種（長野県）

No.	科名	種名	選定根拠					
			文化財	保存法	長野県箇例	環境省RL	長野県RDB	
212	キキョウ	ミヨウギシヤジン					EN	
213		ツルギキョウ				VU		
214		バアソブ				VU	N	
215	キク	キキョウ				VU	NT	
216		トダイハハコ				VU	NT	
217		イワヨモギ				VU		
218		シオン				VU		
219		タカネコンギク					NT	
220		テバコモミジガサ					NT	
221		アワコガネギク				NT	NT	
222		ミヤマホソエノアザミ					VU	
223		マアザミ					VU	
224		キクタニギク					NT	
225		アズマギク					VU	
226		アキノハハコグサ				EN	NT	
227		タカサゴソウ				VU	VU	
228		カントウヨメナ					VU	
229		ミヤマヨメナ					VU	
230		オオニガナ					NT	
231		ホクチアザミ					EN	
232		キリガミネトウヒレン					NT	
233		ミヤコアザミ					NT	
234		ネコヤマヒゴタイ				VU	NT	
235	ヒメヒゴタイ				VU	VU		
236	コウリンカ				VU	N		
237	ヤマボクチ					VU		
238	ウスギタンポポ					VU		
239	タカネコウリンカ				NT	NT		
240	オナモミ				VU	VU		
241	オモダカ	サジオモダカ					CR	
242		アギナシ				NT	EN	
243	トチカガミ	スブタ				VU	EN	
244		ヤナギスブタ					NT	
245		クロモ					CR	
246		トチカガミ				NT	EX	
247		ミズオオバコ				VU	VU	
248	ヒルムシロ	ホソバヒルムシロ				VU	EN	
249		イトモ				NT	VU	
250		センニンモ					EN	
251		ササバモ					EN	
252		ホソバミズヒキモ					NT	
253		ヤナギモ					VU	
254		イバラモ	ホッスモ					CR
255	ユリ	ヒメアマナ				EN	CR	
256		ユウスゲ					NT	
257		キスゲ					NT	
258		ヤマユリ			指定		NT	
259		ホソバノアマナ					NT	
260		ホトギス					NT	
261		アヤメ	カキツバタ				NT	NT
262		イグサ	ミヤマイ				NT	NT
263		エゾイトイ				CR	CR	
264		タカネイ				NT	CR	
265		クモマスズメノヒエ				NT		
266		ミヤマズズメノヒエ					VU	
267		ホシクサ	ホシクサ					VU
268	イネ	エゾイヌノヒゲ				CR		
269		イヌカモジグサ				EN	VU	
270		コウヤザサ					NT	
271		オニノガリヤス					CR	
272		ヒロハヌマガヤ					NT	
273		エゾムギ				CR	NT	
274		ウンヌケ				VU		
275		ミノボロ					VU	
276		シナノカリヤスモドキ					EN	
277		タカネタチイチゴツナギ				VU	EN	
278	イトイチゴツナギ					EN		
279	タチイチゴツナギ				EN			
280	タニイチゴツナギ				DD	EN		
281	フォーリーガヤ				CR	EN		
282	ウシクサ					EN		

表 5-1-45(5) 重要な植物種（長野県）

No.	科名	種名	選定根拠				
			文化財	保存法	長野県条例	環境省RL	長野県RDB
283	イネ	リシリカニツリ				VU	NT
284	サトイモ	ヤマトテンナンショウ					CR
285		ヒトツバテンナンショウ					NT
286		ミミガタテンナンショウ					VU
287	ウキクサ	ヒンジモ				VU	CR
288	ミクリ	ホソバウキミクリ				VU	CR
289		ミクリ				NT	VU
290		タマミクリ				NT	VU
291		ヒメミクリ				VU	EN
292	カヤツリグサ	タルマイスゲ				VU	CR
293		ジョウロウスゲ				VU	DD
294		アゼナルコ					EN
295		ヒナスゲ					VU
296		ウマスゲ					CR
297		ハタバスゲ				EN	EN
298		アカンスゲ				EN	CR
299		ヌマクロボスゲ				VU	VU
300		ホソバオゼヌマスゲ				NT	NT
301		エゾツリスゲ					EN
302		ツルカミカワスゲ					EN
303		コイトスゲ					NT
304		エゾハリスゲ				EN	VU
305		ヌイオスゲ				VU	N
306		アオガヤツリ					NT
307		ヒメヒラテンツキ					NT
308		ヒゲハリスゲ				NT	VU
309	コホタルイ					EN	
310	ヒメマツカサススキ				VU	EN	
311	コシンジュガヤ					VU	
312	ラン	ミスズラン				CR	CR
313		エビネ				NT	CR
314		キノエビネ				CR	CR
315		ホテイラン			特別指定	EN	CR
316		ギンラン					NT
317		キンラン			特別指定	VU	EN
318		タカネアオチドリ					CR
319		キバナノアツモリソウ			指定	VU	EN
320		アツモリソウ		○	特別指定	VU	CR
321		イチヨウラン					NT
322		セッコク					CR
323		カキラン					NT
324		トラキチラン				EN	CR
325		アオキラン				CR	CR
326		ヒメヤマウズラ					NT
327		サギソウ			指定	NT	CR
328		コハクラン				CR	CR
329		ミズトンボ				VU	VU
330		ヒメフタバラン					NT
331		ミヤマフタバラン					VU
332		タカネフタバラン					EN
333		ホザキイチヨウラン					NT
334		アリドオシラン					NT
335		ヒメムヨウラン				VU	VU
336		カモメラン				NT	EN
337		ウチヨウラン				VU	EN
338		ニヨホウチドリ				NT	EN
339		コケイラン					NT
340		ヒロハトンボソウ				VU	EN
341		ミズチドリ			指定		NT
342		イイヌママカゴ				EN	
343		タカネサギソウ					VU
344		ナガバキンチドリ					EN
345		オオバトンボソウ					NT
346		ミヤマチドリ					EN
347		コバトンボソウ					NT
348		トキシソウ			指定	NT	VU
349		マツラン				VU	CR
350		カヤラン			指定		CR
351		ヒトツボクロ					NT
83科351種			8種	5種	23種	190種	331種

※選定根拠の凡例は表 5-1-43 に示す

b. 重要な植物群落

山梨県の調査区域においては、表 5-1-46 及び図 5-1-13 に示すとおり、重要な植物群落の記録があります。

長野県の調査区域においては、表 5-1-46 及び図 5-1-13 に示すとおり、重要な植物群落の記録があります。

なお、山梨県の調査区域におけるキヨサトコザクラ個体群及びムシトリスミレ個体群は、自然環境保全基礎調査において八ヶ岳周辺で選定されていますが、その位置は非公開で明らかにされていません。

表 5-1-46 重要な植物群落

区間	No.	名称	選定根拠					
			文化財	群落RDB	群落I	群落II	自然5	長野県RDB
山梨県	Y1	美し森山のレンゲツツジ群落		○	E	E	E	
	Y2	清里のザゼンソウ群落		○	D	D	D	
	Y3	清里のカラコギカエデ		○	C	C	C	
	Y4	清里高原を中心としたアオナシ		○	H	H	H	
	-	キヨサトコザクラ (位置非公開)			B	B	B	
	-	ムシトリスミレ (位置非公開)			G	G	G	
	Y5	大泉のリュウキンカ		○		C	C	
	-	フジシダ群落 (北巨摩郡須玉町)		○				
	-	富士見平のシラカバ林 (北巨摩郡須玉町)		○				
	-	金山沢のバンドイ林 (北巨摩郡須玉町)		○				
	-	クモイコザクラ群落 (北巨摩郡須玉町)		○				
Y6	江草岩下のフクジュソウ (北巨摩郡須玉町)		○					
長野県	N1	霧久保沢の溪谷林		○		A	A	
	N2	八ヶ岳東山麓の湿原群		○		B, D	B, D	
	N3	湯川のサワグルミ林 ^{注2)} (ジュウモンジシダ・サワグルミ群集)		○	A	A	A	
	N4	八ヶ岳の自然植生 ^{注2)} (亜高山帯から高山帯の各種群落)			A, B, C, D	A, B, C, D	A, B, C, D	
	N5	矢出川 (西川) 流域の湿地植生		○		D	D	
	N6	八ヶ岳山麓のサラサドウダン群落 ^{注2)} (山の神のサラサドウダン群落)	県天	○		H	H	
	-	ハンノキ群落 (南佐久郡南牧村)		○				
	-	ヌマガヤ群落 (南佐久郡南牧村)		○				
	-	御座山の針葉樹林 (南佐久郡南相木村)		○				
	-	金峰山の原生林 (南佐久郡川上村)		○				
	-	矢出川湿原のタルマイスゲ群落						○
-	松原湖のアサザ群落						○	

注 1) - は出典に地図情報がないため、表のみの記載です。

注 2) () 内の表記は「第 1 回自然環境保全基礎調査 長野県すぐれた自然図」に記載されている名称です。

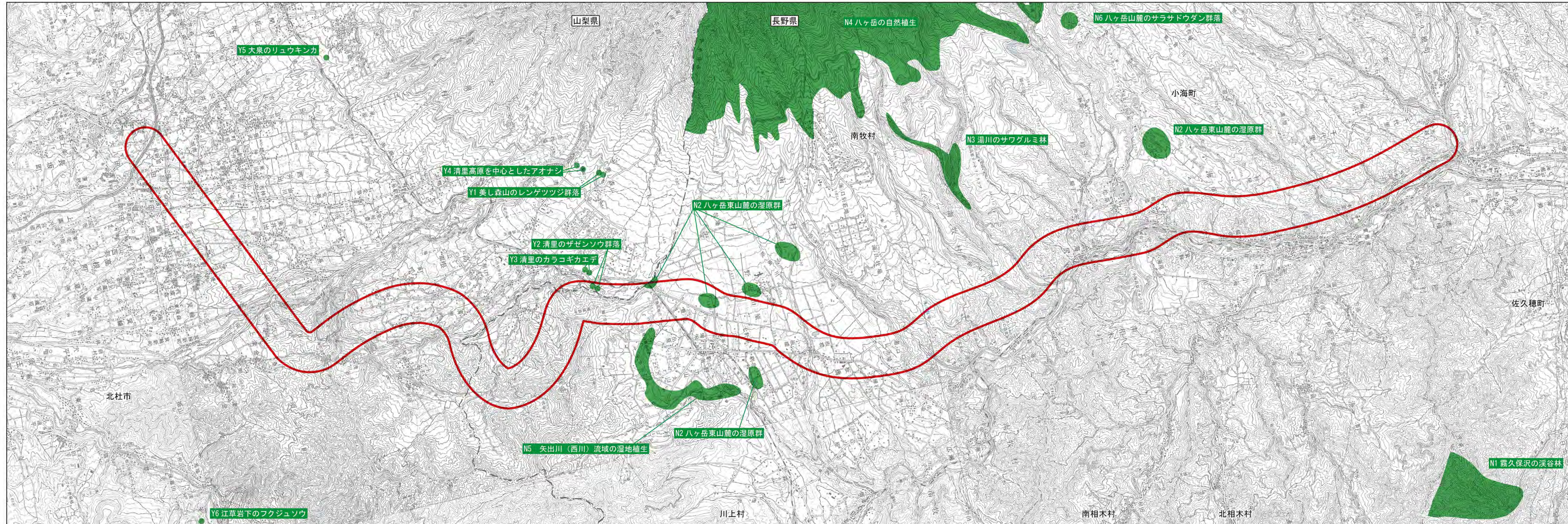
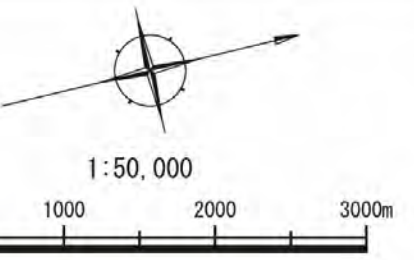


図 5-1-13 重要な植物群落位置図

凡 例

- 事業実施区域
- 県境
- 市町村界
- 特定植物群落

山梨県出典：「第2回自然環境保全基礎調査 山梨県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）
「第3回自然環境保全基礎調査 山梨県自然環境情報図」（平成元年、山梨県）
「日本の重要な植物群落（甲信越版）」（昭和55年2月15日、環境庁）
「日本の重要な植物群落Ⅱ（甲信越版）」（昭和63年8月30日、環境庁）
「第5回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」（平成12年3月、環境庁自然保護局生物多様性センター）
「植物群落レッドデータ・ブック」（平成8年4月15日財団法人日本自然保護協会、財団法人世界自然保護基金日本委員会）
長野県出典：「第2回自然環境保全基礎調査 長野県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）
「第3回自然環境保全基礎調査 長野県自然環境情報図」（平成元年、環境庁）
「日本の重要な植物群落（甲信越版）」（昭和55年2月15日、環境庁）
「日本の重要な植物群落Ⅱ（甲信越版）」（昭和63年8月30日、環境庁）
「植物群落レッドデータ・ブック」（平成8年4月15日、財団法人日本自然保護協会、財団法人世界自然保護基金日本委員会）



3) 植生の状況

山梨県の調査区域の植生の状況を図 5-1-14 に示します。調査区域の中央自動車道接続区間では主に水田雑草群落、アカマツ植林等が分布しており、長野県との県境付近ではアカマツ植林、カラマツ植林、クリーミズナラ群落、アズマネザサーススキ群集等が分布しています。また、八ヶ岳山麓にはカラマツ植林が広く分布し、牧草が点在しています。八ヶ岳の標高が高い部分にはフジハタザオーオンタデ群集やコメツガ群落等も見られます。

長野県の調査区域の植生の状況を図 5-1-14 に示します。植生は、人里近くの山地から標高 1,700m~1,800m のミズナラ林域までの広い範囲にわたって植林が見られます。この植生のほとんどはカラマツで、スギ、ヒノキ、サワラ等はわずかです。このカラマツ植林の中にカスミザクラコナラ群落が高標高地ではクリーミズナラ群落が分布しています。野辺山の台地には畑地雑草群落、牧草が広く分布しています。この他、河川に沿ってヤナギ林、湿地や湿生地にハンノキ林、ハルニレ林等の自然植生が各地に分布しますが、いずれも植生図に示すほどの広がりはありません。

これらのうち、配慮が必要と考えられる自然植生や代償植生のうち自然林に近い植生の区域を図 5-1-15 に示します。これらの植生区分は、表 5-1-47 に示す植生自然度が 8 以上に該当するものを抽出したものです。

表 5-1-47 植生自然度区分基準

植生自然度	区分基準
10	高山ハイデ、風衝草原、自然草原等、自然植生のうち単層の植物社会を形成する地区
9	エゾマツトドマツ群集、ブナ群集等、自然植生のうち多層の植物社会を形成する地区
8	ブナ・ミズナラ再生林、シイ・カシ萌芽林等、代償植生であっても、特に自然植生に近い地区
7	クリーミズナラ群落、クヌギコナラ群落等、一般には二次林と呼ばれる代償植生地区
6	常緑針葉樹、落葉針葉樹、常緑広葉樹等の植林地
5	ササ群落、ススキ群落等の背丈の高い草原
4	シバ群落等の背丈の低い草原
3	果樹園、桑園、茶畑、苗圃等の樹園地
2	畑地、水田等の耕作地、緑の多い住宅地
1	市街地、造成地等の植生のほとんど存在しない地区

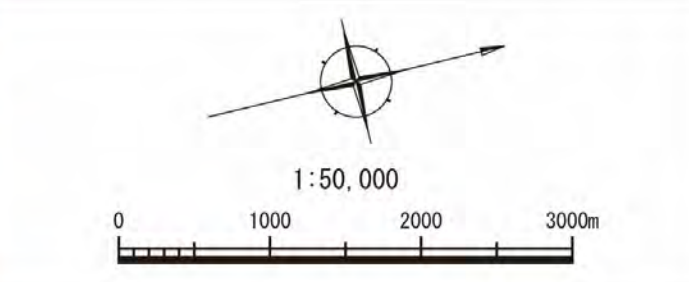
出典) 環境省自然環境局生物多様性センターホームページ



図 5-1-14 現存植生図

- 凡 例
- 事業実施区域
 - 県境
 - 市町村界
- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 高山低木群落 高山ハイデ及び風衝草原 フジハタザオ-オンタデ群落 シラビソ-オオシラビン群落 コメツガ群落 ミドリユキザサ-ダケカンバ群落 シナノキンハイ-ミヤマキンポウゲ群落 ササ群落 伐跡群落 ダケカンバ群落 ツガ-コカンスゲ群落 ウラジロモミ群落 アカマツ群落 ジュウモンジシダー-サワグルミ群落 ヤナギ高木林 ヤナギ低木群落 ハンノキ群落 フジアカシヨウマ-シモツケソウ群落 フジアザミ ヤマホタルブクロ群落 ケヤキ群落 ウラジロモミ-コメツガ群落、ハリモミ群落 クリーミズナラ群落 カスミザクラ-コナラ群落 アカシデーヌシデ群落 シラカンバ群落 レンゲツツジ シラカシ群落 ニシキウツギ ノリウツギ群落 | <ul style="list-style-type: none"> ササ草原 ススキ群落 カワラマツバ-ススキ群落 シバ群落 クヌギ-コナラ群落 アズマネザサ-ススキ群落 スマガヤオ-ダー ヨシクラス ツルヨシ群落 ウラジロモミ植林 シラビン植林 アカマツ植林 スギ・ヒノキ・サワラ植林 カラマツ植林 ヤマハンノキ植林 落葉果樹園 桑園 畑地雑草群落 ヒムカシヨモギ-オオアレチノギク群落 牧草地 水田雑草群落 市街地 線の多い住宅地 造成地 造成地、裸地 開放水域 自然裸地 |
|---|---|

山梨県出典：「第2回～5回自然環境保全基礎調査 植生調査 山梨県」
 (昭和54年度～平成10年度、環境庁)
 長野県出典：「第2回～5回自然環境保全基礎調査 植生調査 長野県」
 (昭和54年度～平成10年度、環境庁)



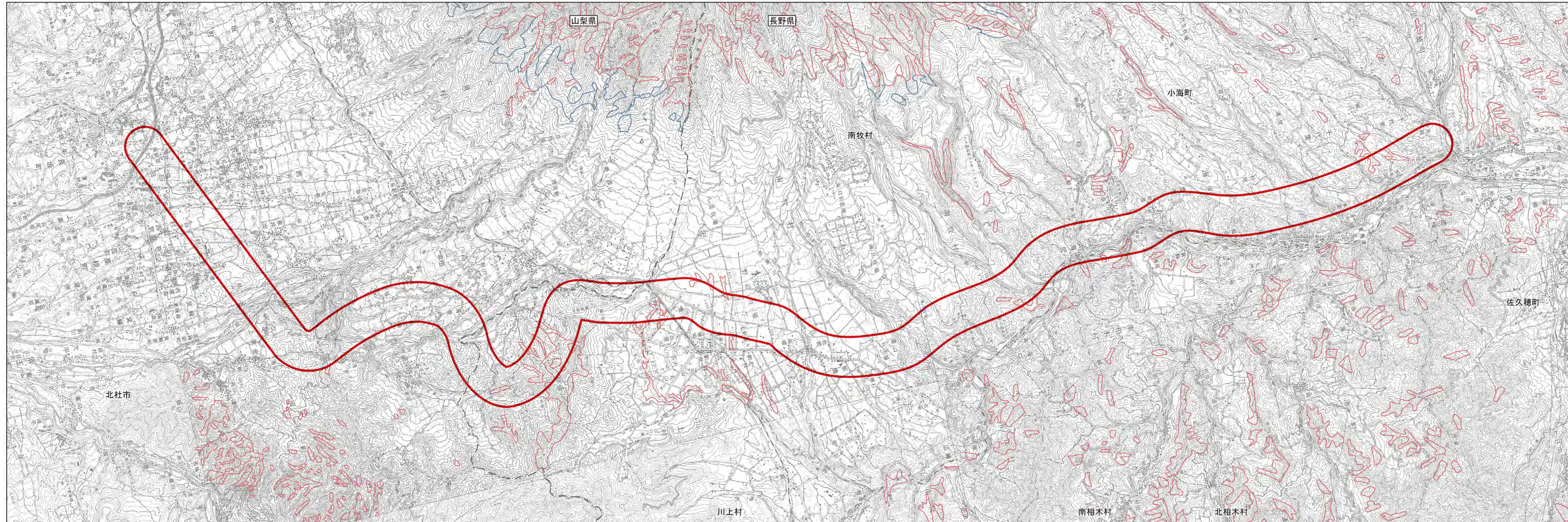
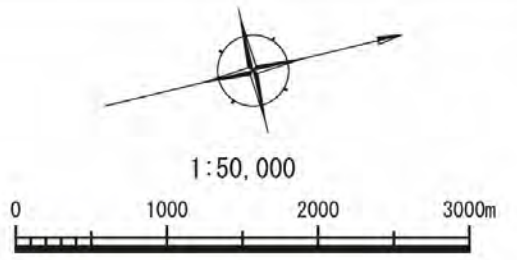


図5-1-15 植生自然度分類図

凡 例

- 事業実施区域
- 県境
- 市町村界
- 植生自然度9
- 植生自然度8

山梨県出典：「第2回～5回自然環境保全基礎調査 植生調査 山梨県」
 (昭和54年度～平成10年度、環境庁)
 長野県出典：「第2回～5回自然環境保全基礎調査 植生調査 長野県」
 (昭和54年度～平成10年度、環境庁)



(3) 生態系の状況

1) 自然環境の類型区分

山梨県及び長野県の調査区域における地形、植生等状況から、これらの情報を重ね合わせ整理することにより自然環境の類型区分を行い、調査区域の生態系の概略を把握することとしました。

調査区域の自然環境類型区分は、「高山帯・亜高山帯-自然林・自然植生」「山地・低地・台地-自然林・自然植生」「山地・低地・台地-二次林・二次草原」「山地・低地・台地-植林」「低地・台地-農耕地」「自然草原・開放水域」「市街地」の7区分に類型化しました。これらの区分の総括を表 5-1-48 及び図 5-1-16 に示します。

表 5-1-48 自然環境類型区分の概況

No.	類型区分	地形区分	地質区分	土壌区分	植生区分
1	高山帯・亜高山帯- 自然林・自然植生	大起伏火山地	安山岩質岩石	乾性ポドソル土壌 黒ボク土壌 乾性褐色森林土壌	高山ハイデ及び風衝草原 フジハタザオーオンタデ群集 ミドリユキザサ-ダケカンバ群団 シナノキンバイ-ミヤマキンボウゲ群団 シラビソ-オオシラビソ群集
2	山地・低地・台地- 自然林・自然植生	中起伏火山地 小起伏火山地 大起伏火山地 中起伏山地 火山性丘陵地 火山麓地 扇状地性低地	砂岩・泥岩互層 泥岩(頁岩・粘板岩) 火山灰 火山砕屑物	黒ボク土壌 褐色森林土壌	ウラジロモミ群落 ツガー-コカンスゲ群集 ジュウモンジシダ-サワグルミ群集 ヤナギ高木林 フジアザミ-ヤマホタルブクロ群集
3	山地・低地・台地- 二次林・二次草原				ダケカンバ群落 クリ-ミズナラ群落 シラカンバ群落 カワラマツバ-ススキ群落 ササ草原
4	山地・低地・台地- 植林				ウラジロモミ植林 カラマツ植林 アカマツ植林 スギ・ヒノキ・サワラ植林
5	低地・台地-農耕地				ヤナギ低木群落 ハンノキ群落 アカマツ群落 ケヤキ群落
6	自然草原・開放水域	火山性丘陵地 火山麓地 扇状地性低地	火山灰 火山砕屑物	黒ボク土壌 多湿黒ボク土壌 褐色森林土壌	カスミザクラ-コナラ群落 アカシデ-イヌシデ群落 クスギ-コナラ群落 ニシキウツギ-ノリウツギ群落 カワラマツバ-ススキ群落 ササ草原
7	市街地				市街地 緑の多い住宅地 造成地

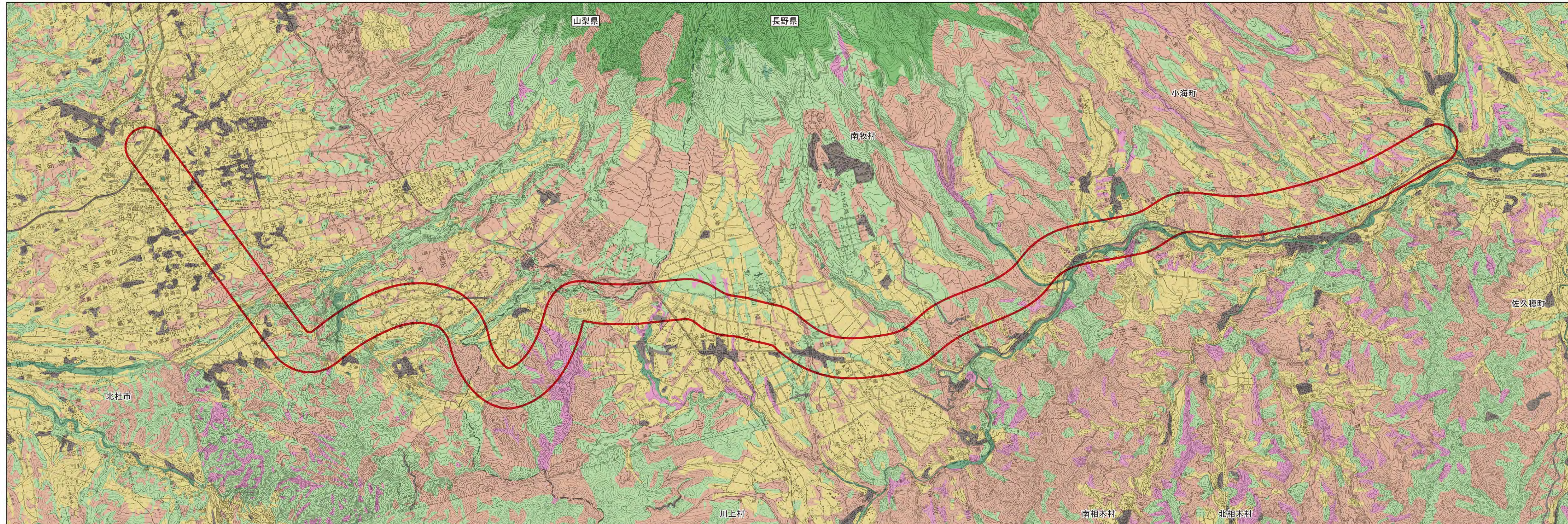


図 5-1-16 自然環境類型区分図

凡 例

- 事業実施区域
- 県境
- 市町村界
- 高山帯・亜高山帯 - 自然林・自然植生
- 山地・低地・台地 - 自然林・自然植生
- 山地・低地・台地 - 二次林・二次草原
- 山地・低地・台地 - 植林
- 低地・台地 - 農耕地
- 自然草原・開放水域
- 市街地

山梨県出典：「第2回～5回自然環境保全基礎調査 植生調査 山梨県」
 (昭和54年度～平成10年度、環境庁)
 長野県出典：「第2回～5回自然環境保全基礎調査 植生調査 長野県」
 (昭和54年度～平成10年度、環境庁)



1:50,000



2) 類型区分ごとの主な動物相、植物相及び生息・生育基盤の状況

山梨県及び長野県の調査区域における自然環境の類型区分ごとに生息・生育基盤及びそこに生息・生育する可能性のある主要な動植物の整理を行った結果を表 5-1-49 に示します。

表 5-1-49 類型区分ごとの主要な生物種・群集

No.	類型区分	生息・生育基盤の種類	生息する可能性のある主要な動物種	主要な植生
1	高山帯・亜高山帯－自然林・自然植生	樹林地 原野	哺乳類：ホンドオコジョ、ホンシュウトガリネズミ、ヤマネ、ホンドモモンガ 鳥類：ホシガラス、ミソサザイ、コマドリ、ヒガラ、ウソ 両生類：アズマヒキガエル、ヤマアカガエル 昆虫類：ベニヒカゲ、クモバベニヒカゲ、タカネヒカゲ、コヒオドシ	フジハタザオーオンタデ群集 シラビソ－オオシラビソ群集
2	山地・低地・台地－自然林・自然植生	樹林地 牧草地	哺乳類：カモシカ、ニホンザル、ツキノワグマ 鳥類：ハチクマ、ジュウイチ、ゴジュウカラ、キクイタダキ 爬虫類：ジムグリ、シロマダラ 両生類：ハコネサンショウウオ、ヤマアカガエル、タゴガエル 昆虫類：コエゾゼミ、オニクワガタ、キベリタテハ、ツヤハダクワガタ、アラメハナカミキリ、キオビホオナガスズメバチ、オオイチモンジ、ヒメシジミ、ウラジャノメ	ウラジロモミ群落 ハンノキ群落
3	山地・低地・台地－二次林・二次草原	樹林地 牧草地、草原	哺乳類：ニホンジカ、ツキノワグマ、テン、キツネ 鳥類：オオタカ、シジュウカラ、コルリ、ホトトギス 爬虫類：ジムグリ、シロマダラ 両生類：ヤマアカガエル、タゴガエル、モリアオガエル 昆虫類：エゾハルゼミ、ミヤマクワガタ、ヒメオオクワガタ、ルリボシカミキリ、ジョウサンミドリシジミ、オオムラサキ	クリーミズナラ群落 ササ草原
4	山地・低地・台地－植林	樹林地	哺乳類：カモシカ、ニホンジカ、ニホンリス、キツネ 鳥類：オオタカ、ノスリ、ヒガラ、メボソムシクイ 爬虫類：ジムグリ、アオダイショウ 両生類：ヤマアカガエル、タゴガエル、モリアオガエル 昆虫類：エゾゼミ、ハルゼミ、チッチゼミ、ウバタマムシ、ヤマムツボシタマムシ	カラマツ植林 アカマツ植林
5	低地・台地－農耕地	耕作地 (水田・畑地)	哺乳類：タヌキ、キツネ、イタチ、アズマモグラ 鳥類：チョウゲンボウ、キジ、ホオジロ、ムクドリ 爬虫類：ヤマカガシ、シマヘビ 両生類：アマガエル、トノサマガエル、トウキョウダルマガエル、イモリ 昆虫類：モンシロチョウ、モンキチョウ、シオカラトンボ、ナナホシテントウ、コバネイナゴ 貝類：マルタニシ、サカマキガイ、ヒメモノアラガイ、ヒラマキミズマイマイ	畑地雑草群落 水田雑草群落
6	自然草原・開放水域	川、沢、湖、ため池、水際	哺乳類：イタチ、カヤネズミ 鳥類：オオヨシキリ、ヒバリ、ツバメ、カワラヒワ 爬虫類：カナヘビ 両生類：カジカガエル、アマガエル、ニホンアカガエル 昆虫類：ギンイチモンジセセリ、ツバメシジミ、アカタテハ、ミヤマアカネ、ショウリョウバッタ、トノサマバッタ、カンタン 貝類：カワヒナ、ニホンマメシジミ	ヨシクラス
7	市街地	住宅地	哺乳類：アブラコウモリ 鳥類：スズメ、ヒヨドリ、ツバメ、ハシブトガラス 昆虫類：ナミアゲハ、キチョウ、ヤマトシジミ	－

a. 高山帯・亜高山帯－自然林・自然植生

「高山帯・亜高山帯－自然林・自然植生」は、八ヶ岳の山麓部にあたり、植生図では主にフジハタザオ－オンタデ群落、シラビソ－オオシラビソ群集、高山ハイデ及び風衝草原等の自然植生により構成されています。これらの生息・生育基盤に生息する主な動物として、ヤマネ、ホンドオコジョ、ホンドモモンガ等の樹林性の小型哺乳類、ホンガラス、ミゾサザイ等の鳥類、アズマヒキガエル、ヤマアカガエル等の両生類、ベニヒカゲ、クモマベニヒカゲ、タカネヒカゲ等の昆虫類が生息すると考えられます。

b. 山地・低地・台地－自然林・自然植生

「山地・低地・台地－自然林・自然植生」は、緩やかな山麓部、野辺山高原等の台地、千曲川やその支川沿いの低地にあたり、植生図ではウラジロモミ群落、ハンノキ群落等の自然植生により構成されています。これらの生息・生育基盤に生息する主な動物として、カモシカ、ニホンザル、ツキノワグマ等の哺乳類、ハチクマ、ジュウイチ、ゴジュウカラ等の鳥類、ジムグリ、シロマダラ等の爬虫類、ハコネサンショウウオ、タゴガエル等の両生類、コエゾゼミ、アラメハナカミキリ、ウラジャノメ等の昆虫類が生息すると考えられます。

c. 山地・低地・台地－二次林・二次草原

「山地・低地・台地－二次林・二次草原」は、緩やかな山麓部、野辺山高原等の台地、千曲川やその支川沿いの低地にあたり、植生図ではクリーミズナラ群落、ササ草原等の二次林、二次草原により構成されています。これらの生息・生育基盤に生息する主な動物として、ニホンジカ、テン、キツネ等の哺乳類、オオタカ、シジュウカラ、ホトトギス等の鳥類、ジムグリ、シロマダラ等の爬虫類、ヤマアカガエル、タゴガエル、モリアオガエル等の両生類、エゾハルゼミ、ミヤマクワガタ、オオムラサキ等の昆虫類が生息すると考えられます。

d. 山地・低地・台地－植林

「山地・低地・台地－植林」は、緩やかな山麓部、野辺山高原等の台地、千曲川やその支川沿いの低地にあたり、植生図ではカラマツ植林、アカマツ植林等の植林より構成されています。これらの生息・生育基盤に生息する主な動物として、カモシカ、ニホンジカ、ニホンリス、キツネ等の哺乳類、オオタカ、ノスリ、メボソムシクイ等の鳥類、ジムグリ、アオダイショウ等の爬虫類、ヤマアカガエル、タゴガエル、モリアオガエル等の両生類、エゾゼミ、ハルゼミ、ウバタマムシ、ヤマムツボシタマムシ等の昆虫類が生息すると考えられます。

e. 低地・台地－農耕地

「低地・台地－農耕地」は、緩やかな山麓部、野辺山高原等の台地、丘陵地にあたり、植生図では畑地雑草群落、水田雑草群落等の農耕地により構成されています。これらの生息・生育基盤に生息する主な動物として、タヌキ、キツネ、イタチ、アズマモグラ等の哺乳類、チョウゲンボウ、キジ、ホオジロ等の鳥類、アマガエル、トノサマガエル、トウキョウダルマガエル、イモリ等の両生類、ヤマカガシ、シマヘビの爬虫類、モンシロチョウ、モンキチョウ、シオカラトンボ等の昆虫類、ヒメモノアラガイ等の貝類が生息すると考えられます。

f. 自然草原・開放水域

「自然草原・開放水域」は、河川沿いや松原湖等の湖沼にあたり、植生図ではヨシクラス域の水際植生により構成されています。これらの生息・生育基盤に生息する主な動物として、イタチ、カヤネズミ等の哺乳類、オオヨシキリ、ヒバリ、ツバメ、カワラヒワ等の鳥類、カジカガエル、アマガエル、ニホンアカガエル等の両生類、カナヘビ等の爬虫類、ギンイチモンジセセリ、ツバメシジミ、アカタテハ、ミヤマアカネ、トノサマバッタ、カンタン等の昆虫類、カワニナ、ニホンマメシジミ等の貝類が生息すると考えられます。

g. 市街地

「市街地」は千曲川等の河川沿い、高原の別荘地、耕作地周辺の住宅地にあたり、アブラコウモリ等の哺乳類、スズメ、ヒヨドリ、ツバメ、ハシブトガラス等の鳥類、ナミアゲハ、キチョウ、ヤマトシジミ等の昆虫類が生息すると考えられます。

3) 環境の保全を目的として法令等により指定された地域その他の対象及び当該対象に係る規制の内容その他の状況

山梨県の調査区域には、「山梨県自然環境保全条例」(昭和46年10月11日山梨県条例第38号)第5条の規定により指定された自然環境保全地区(県内の優れた自然環境等を保全することが特に必要と認められる地域)として、紅葉橋景観保存地区、八ヶ岳川俣景観保存地区、谷戸城歴史景観保全地区が指定されています。また、「第2次北杜市環境基本計画」(平成30年3月、北杜市)によると、調査地域は地形・地理的条件や環境分野別による地域特性を考慮して区分されたエリアのうち、「八ヶ岳南麓東エリア」、「八ヶ岳南麓西エリア」に位置づけ、自然環境の保全を図る等の環境配慮指針を定めています。なお、山梨県・北杜市ともに「生物多様性地域戦略」は策定されていません。

長野県の調査区域には、「長野県自然環境保全条例」(昭和46年7月13日長野県条例第35号)第7条の規定による「長野県自然環境保全地域」は指定されていません。また、「生物多様性ながの県戦略」(平成24年、長野県)によると、八ヶ岳及び佐久地方の低地が、植物の固有種が多い貴重な場所であるとされています。このほか「小海都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」(平成25年、長野県)及び「佐久穂都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」(平成27年、長野県)によると、自然環境・生物多様性保全のため八ヶ岳山麓や松原湖等が自然保全ゾーンとして設定されています。

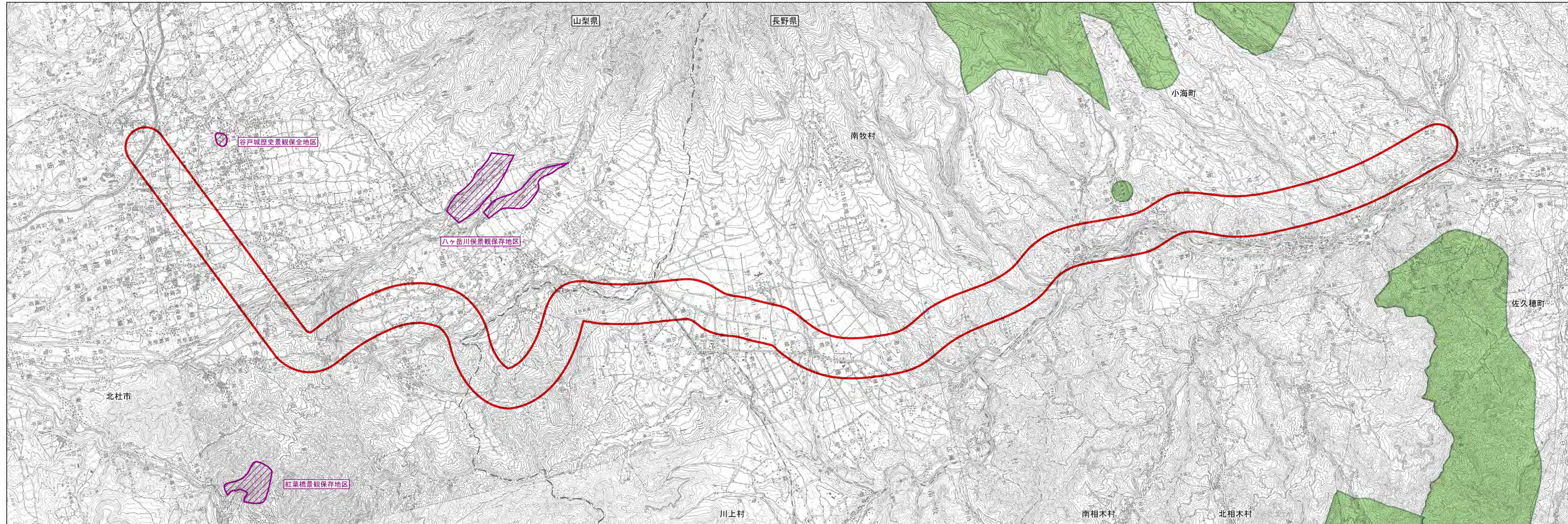


図 5-1-17 計画・戦略・目標等における地域で重要と考えられる環境の状況

凡 例

- 事業実施区域
- 県境
- 市町村界
- 自然環境保全地区
- 自然保全ゾーン

山梨県出典：「山梨県自然環境保全図」（平成 27 年、山梨県森林環境部 みどり自然課）
 長野県出典：「小海都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」（平成 25 年、長野県）
 「佐久穂都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」（平成 27 年、長野県）

